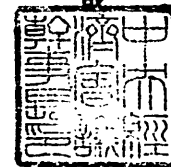


中經第一〇號

昭和十二年八月十二日

中央經濟會議幹事長 井野碩

哉



堀内臨時議員殿

本月二十三日(月曜日)及二十四日(火曜日)ノ兩日内閣總理大臣官舎ニ於テ中央經濟會議諮問第一號特別委員會相開カレ候間御參集相煩度此段御通知申上候

追テ二十三日ハ午前十時ヨリ開會相成ルベク候

中經第一〇號ノ二

昭和十二年八月十七日

中央經濟會議幹事長 井野碩

哉



堀内臨時議員殿

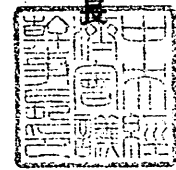
巖ニ御通知申上候來ル二十三日及二十四日開催豫定ノ中央經濟會議諮問第一號特別委員會ハ都合ニ依リ延期ト相成候條御了知相成度此段及通知候

追テ再開ノ日取ハ決定次第改メテ御通知申上候

中經第一三號

昭和十二年九月十五日

中央經濟會議幹事



堀内臨時議員殿

本年七月二十日開催ノ中央經濟會議第一回會議ノ際ノ議事速記録
一部御送付申上候

E-0123





昭和十二年七月二十日

中央經濟會議總會議事速記録(第一回)

E-0123

中央經濟會議總會議事速記録

昭和十二年七月二十日午後二時十七分開會

○廣田廳議長 是レヨリ會議ヲ開キマス。本日ハ總理大臣御不快ノ爲メニ私代ツテ總理大臣ノ御挨拶ヲ述
スルコトニ致シマス。
本日玆ニ中央經濟會議第一回ノ會議ヲ開クニ當リマシテ一言御挨拶ヲ申述ベタイト存ジマス。
今回各位ニ於テハ御多忙中ニモ拘ラズ本會議ニ議員タルコトヲ快諾セラレマシタコトハ私ノ欣懐トスル所
デアリマス。申ス迄モナク現下帝國内外ノ情勢ハ眞ニ非常ノ時デアリマス。之ニ對處スル途トシテハ、外
ニ國防ヲ固クシテ國ノ益ヲ泰キテ圖ルト共ニ、内ハ愈々産業ヲ振興シテ國力ノ充實發展ヲ遂ゲ以テ國防ト
國民生活トニ需要ニ應ゼシメネバナリマセヌ。之ガ爲ニハ凡ソ帝國ノ臣民タルモノハ官ニ就キタルト野ニ
在ルトヲ問ハズ、悉ク協力ニ致シテ帝國ノ永キ繁榮ノ爲ニ有ラヌル方法ヲ盡スコトガ必要デアリマス。
今回各位ニ對シテ本會議ノ議員タルコトヲ御願ヒ致シマシタノハ全ク之等ノ點ニ鑑ミ廣ク智識ト經驗ト
ヲ動員シテ帝國内外ニ互ツテ今後施設スベキ經濟諸政策ト其ノ實施案ノ樹立ニ資シタイトノ趣旨ニ外ナラ
ナイノデアリマス。依テ各位ハ時局ノ重大ナルト責任ノ輕カラザルトニ深ク思フヲ致サレ、産業經濟ノ運営

ニ關スル深キ理解ト豊ナル經驗トヲ十二分ニ活用セラレマシテ、帝國將來ノ發展ノ基礎タルベキ指針ノ確立ニ付キ格別ノ御奮勵アラムコトヲ望ムデ已マナイ次第デアリマス

○廣田副議長 是レヨリ議事規則案ノ審議ニ移リマス、慣例ニ依リマシテ御審議ノ便宜上本會議ノ議事規則ヲ定メマスノガ適當カト考ヘマシタノデ、幹事ノ手許ニ於テ其ノ草案ヲ用意シテ居リマス、仍テ之ヲ基礎トシテ議事規則ノ御審議ヲ願ツテハ如何カト存ジマス——御異議ガナイ様デスカラ唯今朗讀ヲ致サセマス

〔小金幹事朗讀〕

○廣田副議長 唯今朗讀致シマシタ議事規則案ニ付キマシテ何か御質疑御意見等ガゴザイマスレバ御伺ヒ致シタイト思ヒマス——別ニ御異議モナイ様デアリマススカラ原案通りニ決定スルコトニ致シマス

次ニ此ノ際議事ノ進行ニ關シマシテ一言申上ゲテ置キタイト存ジマスガ、今回ノ會議ハ今明兩日ニ互リ一般ノ御意見ヲ伺ヒソレニ基イテ計畫ヲ進メテ參リタイト存ジマシテ豫メ其ノ旨御通知申上ゲテ置イタノデアリマスガ、其ノ後時局ニ急激ノ變化ヲ生ジマシテ事態容易ナラザル情勢ニアリマスノデ、今回ノ會議ハ本日一日ヲ以テ終了致シタイト存ジマス、從ツテ其ノ御積リデ種々御意見ヲ伺ヒタイト存ズル次第デアリマス、尙議事ノ進行ニ關シマシテ御質問ナリ御意見ガゴザイマスレバ此ノ際承ツテ置キタイト存ジマス——別段御意見モナイヤウデアリマススカラ次ノ諮問ノ審議ニ移リタイト存ジマス、本日ノ會議デ御審議ヲ

願ヒマスル諮問ヲ朗讀致サセマス

〔小金幹事朗讀〕

○廣田副議長 唯今朗讀致シマシタ所デ諮問事項ノ大體ノ要旨ハ御了解戴キマシタコトハ存ジマスガ、尙幹事長カラ稍詳シク其ノ趣旨ヲ御説明申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス

○井野幹事長 諮問事項ニ關シマシテ私カラ稍詳細ニ御説明申上ゲタイト思ヒマス

現下内外ノ情勢ニ鑑ミマスルニ我國ト致シマシテハ國際正義ニ則リマシテ東亞安定勢力タル國力ヲ培養スルノ必要ガ益々急ナルモノガアルノデアリマス、從ツテ此ノ際急遽ニ國防ヲ充實シマスルト共ニ國民生活ノ基礎ヲ確立ヲ圖リマスコトハ將ニ喫緊ノ要務ト認メラルルノデアリマス、之ガ爲ニハ産業經濟全般ニ互ツテ飛躍的發展ヲ遂ゲシメ産業各部門ニ互リ其ノ生産能力ヲ擴大シマスルト共ニ又克ク其ノ對外進出能力ヲ強化シ増大セル産業經濟ノ維持ニ支障ナキヲ期スルコトガ要點デアルト思フノデアリマス

之ガ具體的施設トシマシテハ單ニ生産諸部門ノ擴大強化ト其ノ相互間ノ連絡調整ヲ圖ルダケデハ極メテ不充分デアリマス、各種原材料ノ圓滑ナル供給確保ヲ圖リマスコトハ勿論資金ノ調達、技術及労働ノ供給配分、生産品ノ消化等ニ關シテモ充分ナル考慮ト施設トヲ必要トスルノデアリマス、而シテ右ノ諸方策ノ攻究及實施ニ當リマシテハ産業經濟全般ニ互ツテ高度ノ整備充實ヲ圖ルヲ以テ目標ノ根幹ト爲スベキコトハ申ス迄モアリマセス、尙産業經濟ノ發展ハ從來各地方ニ於ケル特殊ノ事情ニ依ツテ支配セラレタル所妙ク

ナク、之ヲ指導目標等ニ於テモ相互ノ連繫上遺憾ノ點ガ尠クナク、此ノ際特ニ全體
見地ニ立テ之ヲ統合調整ニ意ヲ用フルコトガ必要デアリマス

政府ガ農ニ我國經濟力ノ充實發展ニ關シマシテ生産力ノ擴充、國際收支ノ適合及物價需給ノ調整ノ三點
ヲ主眼トスル諸方策ヲ實施スルコトノ極メテ緊切デアリマスコトヲ闡明致シマシタノモ、見地ニ據
我國產業經濟ノ奮フベキ方向ニ付キ大綱ヲ示シタルモノデアリマスガ、之ガ實施ニ付キマシテハ更ニ日滿
兩國ノ經濟的諸條件ヲ檢討シ、時勢ノ要求スル所ヲ省察シマスルト共ニ帝國經濟ノ恆久的發展ノ基礎タラ
シムベキ點ニ深ク思フ致シ、速ニ經濟諸政策ノ根幹ヲ決定シ更ニ之ニ基テ實施基本案ヲ決定スルノ要アリ
ト認ムルデアリマス、依ツテ本會議ニ於キマシテハ右諸政策ノ樹立ト之ガ實施ニ關シ必要ナル事項ニ付
キ慎重審議ノ上御意見ヲ取總ムル運テ致シタイト存ズルデアリマス

○廣田副議長 唯今御説明申上ゲマシタ諸問題ニ關シマシテ何カ御質疑ガゴザイマスナラバ御述ベテ
ヒタイト存ジマス、尙御手許ニ關係各廳カラ提出致シマシタ資料ヲ御配リ申上ゲテ居リマスノデ、其レ等
ノ資料ニ付キマシテ何カ御質問デモゴザイマスナラバ、此ノ際承ハリマシテ、便宜關係者カラ御説明申上
ゲルコトニ致シタイト存ジマス

○十五番(大藏廳長) 唯今頂戴シマシタ參考資料ニ關シマシテハ唯今頂戴シタバカリデ何等御質問ノ仕様
モゴザイマセムガ、本問題ニ關シマシテ私共之ヲ考究スル上ニ聊カ政府ノ御考ヘノ程ヲ伺ツテ置キタイト

云フ點ガ四、五アリマシノデ、ウレヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、第一ニハ内外地トテアリマスガ、外地ニ關
シマシテハ固ヨリ一視同仁ノコトデアリマスノデ、内地ト外地ト經濟上ニ於テ全ク同ジニ取扱フコトニナ
ラズ居リマスルガ、併ナガラ昨年ノ米ノ輸入ニ付キマシテ外地トノ間ニ色々面倒ナ問題ガ起ツタ、其ノ當
時ノ情勢ヲ考ヘマスルト必ラズシモ之ヲ全ク同一ニ取扱フ譯ニハイカナイ、ソコニ何等カノ差別ヲ生ズル
コトガアルト思ヒマスノデ、又政府ニ於キマシテハ其ノ時拓務省ト農林省ノ間ニ色々御議論ガアツテ結局
妥協セラレタ様ニ思ツテ居リマス、ソレデ此ノ内地ト外地トノ關係ヲ大體下ノ程度ニ取扱ハレルデアリ
マスガ、大體ノ御意向ヲ伺ヒタイト思ヒマス、是ガ第一ノ質問デアリマス

○井野幹總長 内外地ノ經濟ニ關シマシテハ唯今御述ベニナリマシタ即チ御諮詢ニアリマセキヤトニ全ク一
視同仁ノ取扱ヲ致シテ居ルコトハ勿論ノコトデアリマス、併シ經濟發達ノ方向程度、其ノ指導統制ニ付キ
マシテハ我國全體ニ於テ統一アル發達、終極ニ於ケル最モ有力ナル組織ヲ以テ目標トスル必要ガアル、此
ノ點カラ各地域々々ニ對シマシテ其ノ經濟ノ現狀、資源、地理的地位等ニ對シマスル所ヲ取扱ニ區別ヲ
生ジマスルコトハ之ハ當然デアラウト思フデアリマス、ソレデアリマスカラ結局内外地ニ互リマシテハ
其ノ産業ノ特性又適地適合性ト云フヤウナ色々ナ點カラ考ヘマシテ失張リ其ノ者ノ依ツテ色々考ヘ
テ參リマス必要ガアルノデ、唯一概ニドウ云フ風ニ取扱フト云フ大キナ原則ヲ決テマスルコトハ非常ニ固
難デアラウト思ヒマス、併シソレ等ノ點ニ關シマシテハ今後能ク議員各位ノ御意見ヲ伺ヒマシテ我々トシ

ヲ進ムベキ指針ヲ示シテ頂キタイ、斯ウ思フノデアリマス

○十五番(大藏議員) 第二ニ伺ヒタイノハ、今日ノ問題ニハ道入ツテ居リマセウガ、日本經濟社會政策殊ニ生活的經濟政策トモ云フベキモノヲ立テラレル時分ニ當然滿洲ノ産業ト云フモノヲ考慮ニ入レナケレバナラヌト思ヒマスカラ、假リニサウダトシマスルト滿洲ノ産業ト日本ノ産業トノ間ニ言フ迄モナク其ヤリ方如何ニ依リマシテハ色々ナ故障ヲ日本ニ與ヘルト云フコトヲ心配シナケレバナラヌト思ヒマス、政府ハドノ點迄日本ト滿洲ノ産業ノ摩擦ト云フモノヲ融和セシメル、言換ヘマスレバ滿洲産業ヲドノ程度ヤラネバナラヌト云フコトハ恐ラク御考ヘニナツテ居ルデゴザイマセウ、ソレハ此ノ會議デ論セラレルガ當然デアルトハ考ヘマスガ、政府ハ大體ソレニ付テドノヤウナ御考ヘデアリマスカタ云フコトヲ御伺ヒ致シマス、之ガ第二ノ質問デアリマス

○井野幹事長 本經濟會議ニ於キマシテハ官制ニモゴザイマスヤウニ内外地ノ綜合的經濟政策ノ樹立ト云フコトガ審議ノ題目トナツテ居リマスガ、此ノ外地ト云フノハ官制上ニ於キマシテ今御話ノヤウニ滿洲ハ道入ツテ居リマセウ、併シ苟クモ今日我が經濟力ノ飛躍發展ヲ考ヘマス上ニ於キマシテハ滿洲ヲ度外視シテハ總テノ計畫ハ立テ得ナイト思ヒマス、隨ツテ日滿一體ノ見地ニ立チマシテ綜合的經濟政策ヲ造ツテ参リタイ、斯ウ考ヘタノデアリマスガ、今御述ベニナリマシタヤウニ其ノ間ニ色々利害ノ衝突ト云フコトモ起リ得ルト思ヒマス、ソレヲ如何ナル點ニ於テ調整スルカト云フ御質問デアリマシタガ、結局日滿一體ニ

考ヘマシテ其間ニ凡テ經濟政策ヲ立ツテ參ルノデアリマスガ、其間ニ出來ル丈ケ矛盾衝突ノナイ産業ノ配分ヲ期シテ行キタイ併シソレデモ其中ニハ二ノ利害ノ衝突致ス分モ起リ得ルコト、思ヒマスルガソレニ對シマシテ其ノ産業自體ニ即シテ種々考慮ヲ運ラシテ行キタイ、例ヘバ今日ノ問題ニ付キマシテモ滿洲ト我國ニ於キマシテ色々利害衝突が見エラシムデアリマスガ、ソレモ此ノ滿洲國ト我國ノ間ノ實情ニ能ク考慮ヲ加ヘマシテ、之ガ兩者ノ衝突ノナイヤウニ今日色々政策ヲ造リツ、アリマス、サウ云フ譯デ各産業ニ互リマシテ適切ナル方策ヲ樹立シテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○十五番(大藏議員) 唯今ノ説明ハ極メテ不明瞭デアリマスガ何レ又具體的問題ニ付イテ述ベルコトニ致シマス、次ニ伺ヒタイノハ滿洲ノ産業ハ既ニ或ル程度迄統制サレテ居ル、然ルニ之ニ對スル同種ノ産業ニ對スル日本側ノ統制ハ極メテ不十分デアル、私共ノ方カラ見マスルト唯僅ニ生産者ノ立場ノ統制ニ過ギナイ様ニ思フノデアリマスガ、大分日滿産業ノ間ニハ大分ムヅカシイコトモアルサウデアリマス、併シ今後其ノ日滿産業ヲ統制シヤウトスル爲メニハドウシテモ日本側ノ産業ト云フモノヲ一層統制スル必要ガアルト思フノデアリマス、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、政府ニ於キマシテモ、サウ云フ風ヲ御考ヘテ持ツテ今後ナサル積リデアリマセウカ、私共トシテ今後經濟政策ヲ考ヘマス上ニ於テサウ云フ點ヲ考ヘマスノデ御伺ヒラ致ス次第デアリマス、是ガ第三ノ質問デアリマス

○井野幹事長 滿洲ノ産業ガ我國ノ産業ニ比シマシテ統制ガ能ク行ハレテ居ルト云フコトデアリマスガ、

是は滿洲ノ産業ハ最近ノ發達アリテ其マウ云フ點ニ比較的都合宜ク行ケルモノデアリマスガ我
國ハ非僅ニ古き沿革ヲ有ルヲ發達シ居ルル色々大産業ガアル譯デアリマスカラ、一方滿洲ノ如キ行キ方デ
進ミ得ザル事情ハ大藏議員モ御諒承下サルコトノ思ヒマス、今後如何ナル方向ニ進ムベキカト云フ問題ニ
付キマシテハ、何ヲ申シヤシテモ現在ノ情勢ニ鑑ミテ我國經濟力ハ充實ヲ期セテ參事マスモ日滿其
他ノ經濟線ヲ通ジマシテ相當ノ計畫的經濟政策ヲ樹立シテ參事ナケレバオラス、其ノ線ニ添ヒテ其
ノ生産力ノ所ノ事情ニ對シテ其物ヲ依テ至ハ統制ヲ更ニ強化シテ行クコトガ得ルモ思ヒマス、
僕ハ現在ノ社會事情ヲ考ヘテ急激ナル統制ヲ加ヘルコトニ依ツテ却テ産業自體ヲ萎縮スル
虞ガゾゲナラスカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ綜合的經濟政策ヲ立テマスル際ニ諸君各位ニ於テ
シテ適切ナル方策ヲ御考ヘ願ヒマス、斯ウ考ヘテ居リマスノデゴザイマス、
○五番(大藏議員) 大ニ伺ヒテモ我々今日日本ノ經濟ヲ考ヘ産業ノ發達ニ付イテ色々計畫シナケレバ
カテ云フコトニ付キマシテ考ヘマスコトハ何ト申シヤシテモ資金ノ問題デアリマス、我々色々考
テシテモ結局金ガナクハ計畫樹立ニモ、何デモサウデアリマスガ、政府ハ此ノ會議ニ於キマシテ色々
立テシレマス計畫ニ對シテ資金ハ必要ナル生産力ニシテ其ノ産業發展上重要ナル資金ニ付イテ或程度
ノ確信ガアリマスガ、今日ノ狀態ニ於キマシテハ各種ノ産業共々資金難ヲ感ジテ居リマスガ、政府ハ
此ノ資金ニ對シテ如何ナル確信ヲ持ツテ居レマスカ、ソレヲ伺ヒテ居ルモノデアリマス、

○兼野總務長 綜合的經濟政策ヲ樹立シ執行シテ參事マスニハ資金關係ガ其ノ根元ヲ爲シマスコトハ御
説ノ通りデゴザイマス、之ヲ如何ニシテ確保スルカト云フコトハ此ノ計畫ニ付キマシテ一審ムツカシイ問
題トトスウ考ヘテ居リマス、併シ何ト申シヤシテモ我國ノ經濟事情カラ見テ茲ニ一ノ計畫的經濟政策ヲ立
テルト云フ必要ニ迫ラレテ居リマスカラ、其ノ必要ニ依リマシテ如何ナル資金ガ使ハレタルカ、之ヲ
目安ヲ立テマシテ、チウシテ如何ナル方面ニ於テ此ノ資金ヲ獲得スルカト云フコトヲ研究シナケレバサ
スト思フノデアリマス、此ノ資金ハ政府ノミニ頼ル譯ニハ無論オカナイ、民間ニ於キマシテモ其ノ資金獲
得ニ努メナケレバナラス、ソレガ爲メニハ企業形態ニ就キマシテ色々考慮ヲ加ヘテ之ヲ立テラナイ點ガ
多イカト思フノデアリマス、チウシテ或ル方法ニ依リテ是レ丈ケノ計畫ヲ爲シ其ノ産業ノ確立ヲ圖リマス
爲メニ即チ生産力ノ擴充ヲ致シマス爲メニ要ル資金ヲ凡ソ見透シテ付ケマシテ之ヲ民間ニ於テ或ル方法ニ
依テテ調達シ又場合ニ依リマシテハ民間ト政府ト共同出資ニ依ツテ産業ヲ起スコトモアサマセウソレ等
ノ事情ハ此ノ計畫ヲ段々進シテ參事マシテ如何ナル方面ニ於テ生産力ヲドレ丈ケ擴充シ又ソレニ對シテ先
程申シマシタ三原則、色々具體的方策ト相俟チマシテ資金關係ハ如何ナル資金ヲ如何ナル方面ニ於テ得
キカト云フコトハ能ク御意見ヲ伺フテ研究シナケレバナラス問題ト思ヒマス、今日ハ是レ丈ケノ資金ヲ有
スルカ、斯ウ云フ計畫ヲ立テロド云フ譯ニハ參事マシテ、資金關係ハ何トカシテ是レ丈ケノ任事ヲシマス
爲メニ工風ヲ立テナケレバナラス、斯ウ云フ事情ニアルモノト我々考ヘテ居リマス、

○十五番(大藏議員) 先程ノ三原則ノ中ノ國際收支ノ見透シノ問題、之ハ極メテ大切デアアルガ、ドウモ私共ニハ能ク分ラヌヤウニ思フデアリマスガ、政府ハ之ニ關シマシテドシテ見透シヲ持ツテ居ラツシヤイマスカ、本年内ニ於ケル收支關係、若クハ將來ニ於ケル收支關係ハ大體ドシテ見透シマセウカソレヲ御尋ネシタイノデアリマス

○三十番(石渡臨時議員) 唯今ノ大藏男爵ノ御尋ネハ極メテ困難ナ御問デゴザイマシテ此ノ場合、此所デ今年ノ國際收支ガ凡ソ幾ラ位ニナルデアラウ、斯ウ言フゴトハ實ハ容易デナイノデゴザイマス、御承知ノ通リ今月ノ始迄ニ於キマシテ一億二千萬圓ノ金現送ヲシテ居ルト云フ狀況デゴザイマス、尙今後ニ於キマシテ此ノ國際收支ノ爲メニ幾千ノ金ヲ現送スベキカト云フコトハ唯今ノ所申上ケ兼ネルヤウナ狀態デゴザイマス、ソレデ今年モ國際收支其者ガ斯ウ云フヤウナ見透シデアッタラドウカ、斯ウ云フ問題デゴザイマスルト之ハ色々ナコトカラ致シマシテ仲々始メニ見透シタヤウニ一定シナイノデアリマス、其中ニハ或ハ棉花、鐵ト云フヤウナモノガ非常ナル輸入ノ増加ニナツテ居ルモノモゴザイマス、是等ノ關係カラ致シマシテ始メニ見透シタ通りニハイカナインノデゴザイマス、併シ之ハ唯今モ仰セノアリマシタ通り仲々國際收支ノ問題トシテ考ヘル通リユイカナインノデアリマシテ、矢張り如何ナル産業ノ擴充ヲ圖ツテ行クカ又物責ノ自給ト云フモノハドウ云フ様ニ行クノデアアルカ時等モ皆相關連致シマシテ考ヘマセスト應サウシテ茲ニ計畫ヲ樹立致サレナクテハ國際收支ノ問題ヲ考ヘテ行クト云フコトハ極メテ困難ダト思フノデゴザイマ

ス、ソレデ是等ノ點ハ結局國際收支ノ問題ヲ出來ル丈ケ一方ニ於テハ輸出ノ増加ヲ圖リ又金産額ヲ多カラシメテ多少現送ヲ多クシテモ困ラス、斯ウ云フ狀況ニ實ハ到リタイト思ツテ居リマスノデ、國際收支ノ關係出來ル丈ケ高イ範圍ニ於テ少シ位ノ輸入超過ニハ困ラヌヤウナ程度ノ大キナ範圍ニ持ツテ行キタイ、斯ウ云フ様ニ存ジテ居ル、今日ニ於キマシテ本年ノ國際收支又明年ノ國際收支、之ガドウ云フ關係ニ立ツカト云フコトハ、之ハ今日是等ノ問題ヲ差措キマシテ此ノ問題カラ先キヲ見透シマスコトハ一寸困難ナ様ニ存ズルノデアリマス

○十五番(大藏議員) 何レ又本問題ニ付キマシテハ今後會議ノ進行ニ伴ヒマシテ御伺ヒスルコトニ致シマス、最後ニ會議ノ進行ニ付イテデアリマスガ、私共今迄、斯ウ云フ會議デハナイノデアリマス分、政府ノ委員會ニモ澤山出テ居リマスガ、ドウモ小田原評議ノヤウニナツテ、少シモ眞劍ニ進マナイ、恐ラク今回ノ會合ハ相當重大ナル會合デアアル、政府ニ於テモ必ズ熱意ヲ以テ御進行下サルコトト思ヒマス、併ナガラ唯此ノ諮問ノ儘デハ仲々進ミマセヌ、ソレデ政府ノ方ニ於キマシテ此ノ諮問ニ關シテ一體斯ウスルノダド云フヤウナ何か御案デモアラレルノデアリマセウカ、又假リニカイトシマシテモ此ノ會議デ議決シタモノハ政府ニ於テ必ズ之ヲヤルノダト云フ御決意ガアルノデゴザイマスカ、ソレ等ノ點ヲハツキリ伺ヒタイ

○井野幹事長 此ノ經濟會議ノ議事ノ進行ニ付キマシテ又此ノ決議ノ效果ニ付キマシテノ御尋ネデゴザイ

大體綜合的經濟政策ニ關シテハ企畫廳自體ト致シテモ具體的ノ對策ヲ立ツ可キ使命ヲ持
ツテ居ルノデアリマス、隨ツテ企畫廳ト致シテ具體的對策ヲ立テマス上ニ於キマシテ唯企畫廳内部デ
色々策ヲ立テマスル丈ケデハ非常ニ場合ニ依リマシテハ狹イ結論ヲ得ル虞ガナイデモナイト思フ、此ノ經
濟會議ハ廣ク民間ノ有力者ノ方々ニ御參加ヲ願ヒマシテ企畫廳自體ガ色々計畫ヲ立テマス上ニ周到ナル御
意見ヲ十分ニ伺ヒマシテ、此ノ會議ニ於キマシテ立テマシタル所ノ綜合的經濟政策及ビ其實施ニ關シマシ
テハ我々トシテハ十分敬意ヲ以テマシテ其ノ決議ヲ取容レマシテサウシテ一ノ具體案ヲ造リタイ、斯
ク考ヘルノデアリマス、會議ヲ進メテ參リマスノニ豫メ諮問案ニ對シテ何カ具體案ヲ示スヤ否ヤト云フ御
意ニデアリマスガ、之ハ出來ル丈ケ一ニ豫メサマノ御意見ヲ伺フテサウ云フモノヲ作ツテ行キテ
イ、ケレドモ豫メコチテカテ作ツテモノヲ御示シ申上ゲルコトハ是ハ此ノ如キ有方方々ノ御集マリヲ願
ヒマシテ趣旨ニ對シマシテ却ツテ失禮デアルト斯ウ考ヘタノデアリマス、ソレデアリマスカラ十分ニ一ツ
御意見ヲ御述メヲ願ヒマシテ、其ノ御意見ニ基キマシテ幹事ノ方デ取纏メテサウシテ具體案ヲ作成シタ
ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホソレニ對シマシテ參考的ノモノヲ御要求デアリマスレバ幹事ノ方
デハ作リマシテ差出シマスコトハ勿論各カデナイ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○廣田副議長 唯令幹事長カラモ申述ベマシタヤウニ此ノ會議ニ於キマシテハ夫々ノ方面ニ於テ多大ノ經
驗ヲ御持チテ御方々ノ御意見ヲ應答ナク拜聴シタイト考ヘテ居リマス、其ノ各方面ノ御意見ヲ成ル可ク廣

ク伺ヒタメデアリマスガ、就キマシテハ津田議員、石黒議員、安川議員、加藤議員、村田議員、藤原議
員等ノ方々カラ特ニ何カ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○九審(石黒議員) 私ハ唯今御指名ヲ戴イタ一人デアリマシテ、皆サンニ先ジテ申上ゲマスルノハ甚ダ
僥越デアリマスガ、私ハ意見ヲ申上ゲルノデナクシテ、御指名ニナツタコトデアリマスカラ、ソレニ依リ
マシテ伺フテ見、且御願ヒシテ見タイト思ヒマス、此ノ委員會ガ特ニ重要視セテレテ、此ノ經濟會議ヲ御
設ケニナリマシタノハ綜合的經濟政策ヲ立テル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、ソレニ付イテ私ハ委員
ノ一人々々ノ意見ヲ聞イテ案ヲ立テルト云フコトデハ具體的ニ進行ハ困難ダト思フ、此ノ事ハ幹事ノ
諸君ニ於カレマシテモ大體ハ御承知ノコトト思ヒマス、隨ツテ兩三同總會のノコトヲヤレバ、ソレカラ具
體的ニ進マウ、ソレニ付イテハ段々ト幹事案のチモノヲ御出シニナルノデハナガテウカ、斯ウ思フテ居リ
マス、又サウ云フ進ミ方ニ事實ナラナケレバ進マヌ譯デハナガテウカト思フ、ソゴデ伺ヒタイトハ此ノ會
議ノ開カレルヨリモ前ニ或ハ數年前カラ局部的ト申シマシテモ比較的廣イ範圍ニ於テ夫々具體的ニ内地外
地間ニ協定的ノ産業政策或ハ品物ニ付イテ兩事務當局間ノ協定ト云フヤウナモノガ澤山アルト思フ、又永
年ニ互ツテ計畫的産業開發、計畫ノ豫算等ニ於テ認メラレタルモノモアルト思フ、サウ云フモノヲドウ云
フ風ニ今後調節シテ行クホト云フコトハ一審具體的ノ問題デハナイカト思フ、今日ゴチラベ出マシテ應六
ナル參考書ヲ頂戴シタノデアリマスガ、其中ニ於テ私ノ氣付イタ點、サウ云フ事項ニ關シテスラ何等御提

供ガナイト云フノハ甚ダ私ハ遺憾ト思フ、サウ云フモノノ御示シハ政府當局ニ於テサレナケレバナラヌコトト思フ、ソレデ此ノ滿洲産業五年計畫ト云フモノハ我々ニハ御提示ニナラヌノデアリマスガ、如何デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ウ、之ハ必ラズ御提示ニナツテ其ノ間ノ調節ヲドウシテ行ツタラ宜イカト云フコトヲ幹事トシテ御取調ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマス

○井野幹事長 唯今石黒議員ノ御質問デゴザイマスガ、今綜合的經濟政策ヲ立テマス場合ニ於キマシテモ内外地間ノ産業ノ上ノ「フリクシヨ」ノ問題、之ニ付キマシテ取調ベテ居ルコトモ色々ゴザイマス、併シ我々ノ方ト致シマシテハ先ヅ内外地ヲ通ジマシテ一ノ計畫的產業政策ヲ樹立シテ行キタイ、是ガ第一ノ目標ニナルノデアリマス、サウシテ然カモ其ノ計畫ノ進行ニ伴ヒマシテ内外地間ノ状態カラ色々起ツテ參リマスル「フリクシヨ」ノ問題ハ之ハ別途ニ一ツ攻究シテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘマシタ爲メニ本日ハソレニ關スル參考資料ヲ提供致サナカッタ次第デアリマス、併シ又色々内外地間ニ於ケル問題ニ付キマシテ御示シノ出來ルモノトソレカラ出來ナイモノトゴザイマスコトハ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマスガ、今サウ云フ問題ニ觸レテ參リマシタガ、其ノ參考資料ハ十分御提供申上ゲルコトニ致シマス

○九番(石黒議員) 私人申上ゲタノハ「フリクシヨ」ノ問題丈ケデナクシテ、協定ノ整ツテ居ルモノモアル、ソレヲ協定ノ整ツテ居ルモノニ付イテハ外部デ之ハ承知ハ出來ナイ、ソレデサウ云フ協定ノ出來タモノヲ承知シテサウシテ綜合的計畫ヲ立テルト云フ意見ヲ述ベマスコトハ最モ實效的ノ結果ヲ得ル所以デ

ハナイカト思フ

○井野幹事長 綜合的經濟政策ニ付キマシテハ今日出來テ居リマスノハ滿洲ノ所謂五年計畫デゴザイマス、此點ハ未ダ外部ニ滿洲國トシテハ公表シテ居リマセヌ、隨ツテ此ノ御手許ニ配リマス時機ニ達シテ居ルカ否カ之ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ外ニ協定シテ居リマスル事柄ハ豫算關係ニ現ハレテ來ル、隨ツテ別段内地ト外地ト間ニ協定のノ取總メタモノハナイ様ニ承知シテ居リマス、併シ例ヘバ朝鮮デ先般開カレマシタ經濟會議ニ於テモサウ云フコトガゴザイマシタケレドモ、之ハ別ニ協定のノモノデハナイト思ヒマスハ併シ御希望ニ依リマシテ之ハ出スコトニナルト思ヒマスガ、今日ハ一般のノ資料ヲ差上ゲマシテ御參考ニ供シタ次第デアリマス

○三十一番(青木臨時議員) 唯今石黒議員ヨリ御話ノアリマシタ滿洲産業五年計畫ハ日滿兩國間ノ協定ト云フ所ニ迄至ツテ居リマセヌガ、滿洲國ノ具體的計畫トシテ私共内示ヲ受ケテ居リマス譯デゴザイマス、之ハ適當ノ機會ニ皆サマニ御示シ致シタイト考ヘテ居リマス

○三十二番(津田議員) 唯今私ハ御指名ヲ受ケマシタ一人ト致シマシテ、實ハ此問題ニ付イテハ詳細數字ヲ以テ愚見ヲ申述ベタイト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、先頃本會ハ今明日開クト云フ御話デアツタ、ソレデ私ハ何レ明日申上ゲセウト考ヘマシタノデ、今日ハ資料ヲ持參致シテ居リマセヌ、隨ツテ明確ニ申上ゲ兼ネマスガ、折角ノ御指名デアリマスカラ愚見ノ一端ヲ申述ベテ見タイト考ヘマスハ先刻モ御話ノヤウ

一六
國際收支ノ適合ヲ圖ルコト云フコトハ一大幅目デアリタ、然ルニ本年ノ海外ノ貿易
收支勘定ヲ見テモ、上期ノ入超ガ六億四千百萬圓ニ計上セテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り此ノ數
字ハ恐ラク大正十三年以來ノ數字デアリマシテ驚クベキ數字デアリマス、隨ツテ此ノ問題ニ付イテ種々評
議ガ繰返シテ居ル様デアリマスガ、其ノ中デ一番金高ノモノハ何かト申セバ矢張り綿、所謂原棉ソレカ
ラ羊毛ト鐵、是ガ二番大キイ輸入ノ大宗トナツテ居ルノデアリマス、棉花ニ付キマシテハ昭和六年ニハ二
億九千六百萬圓デアツタモノガ十二年ニハ八億五千萬圓ニ上ツテ居リマス、又本年上期六月迄ニ輸入サレ
タモノハ六億三千萬圓ニ達シテ居リマスカラ此ノ數字ヲ以テ行キマスナラバ本年ノ棉花ノ輸入高ハ約十億
圓ニモ達スルデアラウト考ヘラレルノデアリマス、又羊毛ニ付イテ見マシテモ昭和五年ハ七千三百萬圓、
昨年ニ至リマシテハ二億圓ヲ超過シテ居リマス、又本年上期丈ケノ數字ヲ拾ツテ見マシテモ其金額ハ二
億五千八百萬圓ニ達シテ居リマス、未曾有ノ巨額ヲ示シテ居ルノデアリマス、鐵ノ如キハ昭和八年ニ四千
八百萬圓、昨年ハ一億九千二百萬圓、本年上期丈ケデ一億八千八百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、
又棉花、羊毛、鐵、是等ノモノハ年ヲ追フニ從ツテ増加致シテ居ルノデアリマス、鐵ニ付キマシテハ專門
デナイノデアリマスカラ意見ハ差控ヘタイト考ヘマスルガ、其棉花ト羊毛ニ付イテ一應意見ヲ申述ベタイ
ト考ヘルノデアリマス
此ノ棉花ハ輸入ガ大變殖エタト云フコトハ一面ニ於テ好マシカラザル數字デアリマスガ、他ノ一面ニ於テ

一七
ハ其ノ大部分ハ輸出ニ向ケラレルモノデズカラ必ラズシモ其ノ金額ノ増加ヲ以テ悲觀ノ材料トスル譯モハ
イカナイノデアリマシテ、其ノ内容ニ於キモシテ多々益々辨ズト云フ考ヘ方モアリ得ルノデアリマス、併
ナガラ總テノ物資ヲ海外ニ求メテ參ルト云フコトニ付イテ是ハ我國ノ地面ハ非常ニ狭イ又適地ガ少イ、同
ジク買付ラズルニモ餘程考慮ヲ要スルノデナイカト思フデアリマシテ、先ヅ棉花ノ如キ其ノ大部分ハ
亞米利加デアリマシテ、ソレカラ印度カラモ來ルコトニナツテ居リマス、所分此ノ兩國共我國ニ取ツテハ
輸入超過ノ國デアリマス、亞米利加ノ如キハ一昨年ハ三億七千萬圓ノ買越ニナツテ居ル、總テ綜合數シマ
シタ數字ガ左様ニナツテ居ル、昨年モ二億六七千萬圓ト考ヘマスガ、本年上期ハ一億八千萬圓ニ増加シテ
居ル、印度ノ如キモ矢張り同ジデアリマシテ多ク棉花ヲ取入レル關係デハアリマスルガ、我國ハ印度ニ對
シテ前ハ一億圓位輸出超過ニナツテ居ツタノデアリマスガ、最近ハサウデナクシテ段々輸入超過ニ傾イテ
參リマシテ、昨年ハ二億圓以上ノ買越ニナツテ居リマス、此ノ兩國共紡績業ト云フ方カラ見マスルト何億
圓ト云フ綿ヲ買付ラセラレルノデアリマスカラ我綿製品ニ對シマシテハ非常ナ好感ヲ以テ之ヲ受入レテ吳
レルデアラウト考ヘルニモ拘ハラズ先方カラ申セバサウ云フ考ヘナイ、綿ヲ賣ツテヤルノデアルト云フ考ヘ
デ居ルヤウデアリマス、極力日本ノ綿製品ハ申スニ及バズ其ノ他ノ雜品ニ對シテモ抑壓ノ手段ヲ講ジテ居
ルコトハ皆サン御承知ノ通りデアリマス、詰リ片爲替ニナル傾向ノアル國々ヨリ之ヲ買付ケルコトハ極メ
テ賢明デアルトハ考ヘラレナイノデアリマス、所謂爲替ノ均衡ヲ維持スルト云フコトガ必要トスルナラバ

之ハ宜シク全部トハ申シマセズガ、十億圓ノ棉花輸入ノアル其中二、三億圓ハ我勢力圈内ニ求メ得ルナラバ、ナウ云フ國策ヲ決定シテ邁進スルコトガ我國民經濟デハ適切有效ナル手段デハナイカト考ヘルノデアリマス、極メテ大荒マシノ御話ヲスルヤウデアリマスガ、目下考ヘラレテ居ル此ノ國家政策、ソレハ臺灣、朝鮮、滿洲ヲ通ジテ金額ニ於キマシテ約八千五六百萬圓位ハ取入レルダラウト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、併ナガラソレハ今日ノ耕地、我々ガ耕シ得ル可能性ノアル地面、詰リ手取リ早ク爲シ得ル棉花ノ増産ト云フモノハ八千萬圓以上デアリマセウ、併ナガラ滿洲ニ於キマシテモ、モウ少シ灌溉ノ便ヲ圖リ或ハ整地ヲスル、不毛ノ地ヲ開拓スルコトニ一段ノ努力ヲ致シマシタナラバ更ニ大ナル棉花ヲ自給シ得ルノデハナイカト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、之ハ極メテ大積リノ計算デアリマス、今日ハソレニ付イテ詳細申述スル資料ヲ持參シテ居リマセズガ、少クトモ朝鮮、臺灣、滿洲ヲ通ジマシテ一億八千萬圓位ノ綿、ソレハ百斤五十圓乃至五十五圓ト積リマシテ一億八千萬圓位ノモノヲ造リ得ルト云フコトハ力ノ入レ様次第デゴザイマスガ、必ラズシモ不可能デナイ、又隣邦北支、今日問題ニナツテ居ル地方デゴザイマスガ冀東、冀察即チ河北ノ地ニ於テ今後増産シ得ベキ棉花ヲドノ位カト申セバ是亦二億圓ヲ下ラス、ソレニ付キマシテハ或ハ滿洲ト提携シテ食料ト交換的ニ之ヲ行ウト云フ技術上ノ問題又方法ト云フモノハアリマスルガ、要スルニ河北ニ於テ二億圓位ノ増産ヲスルコトガ出來ル、諸外國カラ原綿ヲ取入レルコトハ好マシクナイト云フ丈ケデナク、我國ノ製品ヲ買ツテ吳レル地方カラ之ヲ買付ケ

ル、其ノ爲メニ相當ノ力ヲ注グハ是ガ百年ノ大計トシテ望マシイコトデハナイカ、詰リ爲替ノ維持ノ上カラ致シマシテモ片爲替ニナラナイヤウナ國ヨリ分散買付ヲスルト云フ意味ニ於キマシテモ此ノ北支問題ハ十分考慮ヲ加ヘテ宜イコトデハナイカ、之ニ對シテ適切ナル方法ヲ考ヘテハドウカト考ヘルノデアリマス、況ンヤ此滿洲ニ於キマスル非常ニ廣大ナル地面、之ハ水利灌溉ノ便ヲ圖ルコト、或ハ農民ニ對シテ金融ノ便ヲ圖ルコト或ハ公正ナル取引ニ依ツテ農民ノ利益ヲ圖ルトカ種々細カイコトハ色々アリマセウガ、今日斯様ナ輸入ノ多クヲ占メテ居ルモノニ對シテ是正ヲスルト云フコトニ付イテ此ノ價格ヲ御取決メ下サルトカ種々ノ方法ヲ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、又羊毛ニ致シマシテモ、元來今日迄實ハ滿洲羊毛ニ依存シテ居ツタノデアリマスル、ソレデ「メリノ」ト云フヤウナ最モ高級ノモノノミニ馴サレテ我國ノ羊毛工業ハ凡テ滿洲ノ羊毛「メリノ」ヲ基準トシテヤツテ參ツテ居リマス、ソレデアリマスルカラ急ニ之ヲ滿洲ノ羊毛ヲ使ヒマセウニト言ハレマシテモ技術的ニ非常ニ困難ナコトガアルト云フヤウナ理由デ一向願ミラレナイノデアリマス、併ナガラ滿洲ト日本ノ貿易關係ヲ見マスト之ハ毎年一億二三千萬圓乃至一億四五千萬圓ノ片爲替ニナツテ居リマス、之ハ先方カラ買付ケマスル主トシテ羊毛デアリマスルガ、ソレニ對應スルタメニ滿洲カラ日本ノ物ヲ買ヘト申シテモ非常ニ困難デアル、何シロ向フハ五百萬人ノ需要ニ過ギナイノデアリマスカラ買ヘト言ツテモ十分ニハイカナイ、併ナガラ毎年片爲替ニナツテ居ル、一億二三千萬圓若クハ七八千萬圓ニ達シテ居ルカラ、其ノ超過シタモノハ分散買付ヲ爲シタソ、レハ一昨年南阿或ハ「アル

モンチン」ノ方カラ買ツタ、所ガ之ハドウモ經濟的デナイ、利益デナイデアリマス、デアリマスカラ之ニ對シテハ矢張り滿洲蒙古ノ羊毛ヲ以テ充當スル、ソレデモ尙足りテイ所ハ「ステイブル、フアイバ」ヲ以テスル、之ハ獨逸アタリデハ今日現ニ行ハレテ居ルデアリマス、サウ云フ點モ一ツ加味シテ成ル可ク此ノ片爲替ニナル所ニ對シテハ之ヲ是正シテ行クト云フコトガ大切デハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレニ對シマシテ支那羊毛ガ現ニ不満足ノ状態ニアルト考ヘマスルガ、現在ハ滿洲蒙古ノ羊毛類ハ主トシテ露西亞ニ買ハレテ居ル、ソレガ露西亞ノ勢力ガ蒙古ニ蔓ツテ行ク一原因ニナツテ居リマス、總テノ蒙古ノ經濟ガ露西亞ニ依存スルト云フコトデアリマス、又此ノ露西亞ニ運バレマシタ羊毛ハ獨逸ニモ分散サレテ居リマス、又北支カラ出テ參リマスル羊毛類或ハ滿洲カラ出テ參ル羊毛類ハ亞米利加ニ主トシテ輸出スルト言ハレテ居ル、之ハ惡イ毛ダカラ般通ダケニ使ハレテ居ルヤウニ宣傳サレテ居リマスルガ、ソレハ大キナ誤リデアリマシテ、勿論般通ニナル分ハ大部分デアリマスガ、一概ニ之ガ惡イモノト考ヘルコトハ誤リデアリマス、今日ハ仲々立派ナモノガ出來テ居ルト思ヒマス、ソレニハ滿洲ノ羊毛ヨリ餘程手ハ掛リマシガ、之ヲ非常ニ細イモノト太イモノト容易ニ分離スルコトハ出來ルノデアリマス、其ノ質ハ必ラズヤキ惡イモノデハナイト思ヒマス、其他ニ野羊即チ蒙古ニ多ク産シテ居リマス其ノ野羊ノ毛或ハ駱駝ノ毛ナドハ非常ニ上等ナモノガ取レルノデアリマス、詰リ食ハゾ嫌ヒト云フコトガ今日滿洲羊毛ガ蔓ツテ滿洲ノ毛ガ使ハレナイ重大原因デアリマス、是レカラ成ル可ク多量ニ之ヲ買入レルコトヲ考ヘララドウカト思

ヒマス、唯茲デ特ニ滿洲御關係ノ方ニ御願ヒシタイコトハ、滿洲カラ輸出サレル場合ニハ外國へ出スニハ大變都合ノ宜イ様ニナツテ居ル、「ガシミヤ」トカ駱駝ノ毛ノ如キハ主トシテ日本ニ運バレルニ付イテ輸出税ヲ掛ケテ居リマス、然ルニ普通ノ羊毛ハ「フリー」ニナツテ居ル、之ハ亞米利加トオ獨逸ニ運バレルニハ所謂白人ニ都合ノ宜イ様ニシテアル、ソレデ今後滿蒙ノ毛ヲ日本ニ取入レルト云フコトニナリマスルナラバ之ハサウ云フ品物ニ對シテノ輸入税ト云フモノハ御取止メテ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、尙滿洲ノ方ニ特ニ御留意ヲ御願ヒシタイコトハ滿洲ハ獸疫ガ多イカラサウ云フモノニ方ヲ入レテモ大シタコトニヤカラスト云フ説ガ今日朝野ヲ風靡シテ居ルヤウデアリマスガ、之ハ研究ガ足リナイデアリマシテ必ラズサモサウ云フコトデハナイ、現状ヲ改善シ健全ナル牧場ト爲シ得ル種々ノ方策ガアルノデアリマス、ソレヲノ點ニ付イテ詳シク申述ベクイノデアリマスガ、私ノ爲メニ貴重ナル時間ヲ御費キ下サルコトヲ遠慮致シマシテ省略致シマスガ、羊毛ニ對シテ認識ヲ新ニスル必要ハナイカ、又此ノ改良事業ニ付イテモ否定スル人ガ澤出アルノデアリマスガ之ハ決シテ否定シ悲觀スル必要ハナイ、大イナル查源ガ滿洲ニアル、查源ノ開發ハ非常ニ廣イ範圍ニ於テ開發サレル無限ノ沃野ガアルデアリマス、之ヲ開發スルコトガ日滿ノ經濟上重大ナルコト考ヘマスガ、羊毛棉花ヲ通ジマシテ少クトモ十二三億圓ニ達スル重大ナル問題デアリマスカラ此ノ内ニ割三割ヲ今日ノ状態カラ繰換ヘテ自給スルコトガ出來マシタナラバ所謂國幣收支ノ上ニ於テモ貿易上ノ數字ヲ改善スル上ニ於テ偉大ナル效果ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、然ルニ

斯ウ云フ問題ハ單ニ今日始マツタモノデナク過去數十年ノ間、同一ノ事ガ繰返サレ、此ノ根本策ニ付イテ未ダ探ラレタコトガナイト云フノハ私共當業者トシテ頗ル遺憾ニ考ヘテ居リマス、此ノ事ハ紡績業者或ハ羊毛工業者ノ利益ノタメニ諸君ニ訴ヘルノデハナクシテ、此ノ國際收支計算ノ改善ニ努力スルニ最モ都合ノ好イ品目ノ一ツデハナイカト考ヘテ申上ゲタ次第デアリマス、成程本年ハ上期丈ケデ六億四千萬圓ノ入超デアリマスガ、昨年ノ入超ハ矢張り上期ニ於キマシテ三億圓ニ近イモノデアリマス、差引勘定シマスレバ昨年上期ノ入超ト本年上期ノ入超トハ其ノ差ニ於テ三億何千萬圓ニ過ギナイノデアリマス、兎ニ角其ノ増加シテ居リマスル三億何千萬圓、之ハ現金ノ計算デアリマスガ、棉花ノ昨年ノ六月末ノ持高ト本年六月末ノ持高トヲ比ベテ見マスルト約六億萬餘少シ多イノデアリマス、此ノ現金ノ約三億七千萬圓ト云フモノハ決シテ使ツテ仕舞ツタノデハナイ、ソレ丈ケハ貯金ニ殘ツテ居ルト御考ヘニナツテ宜シイと思ヒマス、又羊毛ニ於キマシテモ大部分ハ使ハズニ持込ンデアリマス、ソレラハ年末迄ニハ海外ニ綿製品、羊毛製品トシテ賣出サレルノデアリマス、本年ノ年末ニ於ケル入超ニ付イテハ左程大キナ心配ハ要ラナイと思ヒマス、詰リ昨年ノ上期ト入超ヲ比ベルト多イノデアリマスガ、之ハ現金勘定デアリマシテ品物ハ大部分殘ツテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、詰リ唯考ヘラレルノハ鐵ノ一億圓デアリマス、之ハ昨年ノ上期ノ輸入ヨリモ本年ノ輸入ガ一億圓増加シテ居リマス、之ハ矢張り重工業ニ使ハレルノデゴザイマセウ、併ナガラ理屈ヲ申セバソレハ必ラズシモ使ツテ仕舞ツタノデハナイ、大部分ハ倉ノ中ニ殘ツテ居ル、ソレデアリマス

二三

カラ入超ガ大デアルト云フテ大騒ギラスルト云フコトハ尙早デアルト考ヘルノデアリマス、唯問題ハ本年ハ五億ニ達スルデアラウト思ハレル棉花取ニ羊毛ハ上期ハ二億五千萬、之ハ大シテ必要ハナイヤウと思ヒマスガ、兎ニ角棉花ト羊毛ヲ何處カラドレ丈ケ買付ケルカ、朝鮮、滿洲デドノ位供給ガアルカト云フコトヲ唯御座ナリノ研究デナク、モウ少シ深ク研究シテ二十年ドコロデハナイ、五十年先キ迄、之ニ對スル對策ヲ考ヘル必要ガアラウト思フノデアリマス、幸ヒ本會ハ滿洲朝鮮内地ノ權威ノ御捕ヒニナツテ居ル所デアリマスカラ、ソレ等ニ付イテ充分一ツ御考ヘテ御決メテ頂イタラ大變仕合セデアリマシテ、其ノ皮切ニ私分愚見ヲ申述ベタ次第デアリマス

○十番(安川議員) 私ハ唯今此ノ諮問案ヲ拜見シタノデアリマス、此ノ諮問案ノ字句ハ誠ニ簡單明瞭デアリマスケレドモ此ノ内容ニ至ツテハ甚ダ重大且廣範圍ニ互ツテ居ルモノデアリマシテ、今直チニ茲ニ是ガ意見ヲ申述ベルコトハ如何カト存ズルデアリマス、就キマシテハ當局ノ御方ニ少シ御質問申上ゲ又此ノ諮問案ニ對シテ我々ノ參考資料ヲ得タイト思フノデアリマスガ、先ヅ私ノ考ヘル所ニ依リマスルト内外地ニ於ケル綜合的經濟政策ト云フコトデアリマスルト餘程此ノ問題ヲ檢討スルニ付イテ材料ガ非常ニ廣汎ニ互ツテ且ツ精密ナ取調ニ依ツタ數字ヲ基礎トスルコトガ最モ必要ト思ヒマス、例ヘバ先頃政府ガ御發表シテモドウ云フ點迄生産力ヲ擴充スルカト云フ目標ヲ何處ニ置クカト云フコトハ之ハドテラデ御決メ下サ

二三

ルノデゴザイマスガ、之ハ總テ政府ニ於テ凡ソノ見當カ付イテ居ルノデアリマセウカ、例ヘバ鐵ノ生産力
ヲ何百萬噸ニ増加スル、其ノ需要ヘドウ云フ方面ニ何千噸何百噸使用スルト云フヤウニ夫レ丈ケノ數量ヲ
必要トスル、或ハ又石炭ニシテモ然リ、其他ノ總テノ産業ニ付イテ生産力擴充ト云フコトハドノ點ヲ標準
トシテ進ンデ行クノデアアルカト云フコトニ付イテノ基礎目標ニ關シテソレハ我々ノ考ヘテ述ベルコトモ
出來ヤウトハ思ヒマスガ、唯今ノ所デハ實ハ生産力擴充ト云フタ所デ何處迄ヤツテ行クカ、ソレハ日本ノ
人口ニ應ジテ相當必要ナ所ヲ割出スコトモ出來マセウカ、又軍部トシテモ國防上必要程度ノモノヲ造ルト云
フコトハ今日軍内部ニ於テ其御計畫ガアリマセウカ、ソレ等ヲ基礎トシテ大凡ク數字ガ出テ來ルハシナイ
カ、ソレヲ考ヘテソコニ何等カノ目標ト其ノ數字ガ現ハレテ何處迄調節シ得ルカト云フ研究ガ付クノデハ
ナイカト思ヒマス、又輸出入調節ノ問題ニシマシテモ之ハ御承知ノ通り日本ノ輸入品ト云フモノハ殆んど
大部分ハ原料品デ、其ノ原料品ノ中デモ日本國民ノ必要トスル物ヲ造ル爲メノ原料品及ビ製造能力ヲ加ヘ
テ加工シテ輸出シテ行ク爲ニ使ウ原料品ト云フモノニ分レルノデアリマス、隨フテ此輸入ヲ制限シ輸出
ヲ獎勵スルト云フコトハ互ニ相關連シタ問題デアリマシテ決シテ一方丈ケノ問題デハナカラウト思ヒマ
ス、隨ツテ一方ハ輸入ヲ調節スル、輸出ヲ獎勵スルト云フコトニナレバ之ハ大シク心配ナクヤリ得ルノデ
アリマスガ、必ラズシモ輸入調節ト云フコトデナカラウト、又輸出獎勵、之ニバカリ重キヲ置クバカリデナ
カラウト考ヘマス、ソレデ是レカラ問題ガ進ンデ參レバ其ノ目標ヲ造ルト云フコトニナリハシナイカト思

ヒマス、ソレデ私ノ一寸頭ニ考ヘマス所ニ依リマスルト假シニ日本ノ輸入品ハ必要ナ原料品以外ハ左程必
要ナ感シナイト假定ラシマシテ其ノ輸入品全體ヲ禁止スルト云フコトニスレバ、忽チニシテ今日ノ此
状態ニ應ジテ輸出入ノ「バランス」ガ取レル譯デアリマスガ、サウ云フヤリ方ガ果シテ全體ノ經濟ノ上ニ動
搖ヲ與ヘズシテ済ムカドウカト云フコトガ問題デアリマス、仲々セウ簡單ニハ參リマスマイト思ヒマ
スガ、兎ニ角輸出入關係ヲ調節ガ出來マスルニシマシテモソコニ又何等カ目標ヲ置イテ掛ル必要ガアリ
ジナイカト思ヒマス、ソレカラ又需給ノ調節ニシマシテモ假シニ外國カラ輸入スルモノヲ止メ
テ、日本内地デ生産スルモノニ限ツテ輸入ヲ許ス、日本ノ版圖内ノ生産品ヲ限ツテ之ヲ許ス、斯ク云フ原
則ヲ決メテ、サウシテソコニ何等カノ標準點ヲ置イテ夫々三大政策ニ道入ルノガ必要デアリヤウニ考ヘマ
ス、ソレニ付キマシテ當局ニ御願ヒシタイト思ヒマスノハ前申シマス通り生産擴充ト云フコトハドウシテモ
點數擴充スルカト云フ何等カ目標ガアリマスルカラバ御示シテ下サイマスレバ大體任合セト思ヒマス、又輸
出入ノ調節ト云フコトモ之ヲドウ云フ風ニシテヤルカ、日本ニハ一體原料品ハ必要デアアル、ドウシテモ
二、三億或ハ五億ノ輸入ヲシナケレバナラズ國デアルカラ其ノ差ヲドウ決濟スルカ研究シナケレバ大ニ
ト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付イテモ何か標準點ガゴザイマスナラ御示シテ下サルト大體評議ニ便宜ヲ得ル
ト思スノデアリマス、今私トシテ此ノ諮問案ニ對シテ意見ヲ述ベルニシマシテモ唯漠然トシタ抽象的ノコ
トヲ申上ケル外ハアリマセウ、具體的ノ案ト云フコトニナリマスルト、ドウシテモサウ云フ根本ノ調査數

字ト云フモノガ基礎ニナツテ來ナケレバナラヌト思ヒマスカラ、ドウカ其邊ニ付イテ御準備ヲ御願シタイ
ト存ジマス

二六

○井野幹事長 誠ニ御尤モナ御質問デゴザイマスガ、當局ト致シマシテ綜合的經濟政策ヲ立テマシテ其ノ
實施ニ導入リマスニハ數字のニ色々ノ物資ニ付キマシテ需給關係ヲ調ベマシテ、サウシテ其結果是レ丈ケ
物ガ要ルカラ夫レニ對シテノ生産力ヲドウ擴充シナケレバナラヌト云フコトニ導入ツテ來ナケレバナラヌ
ト思フ、其爲ニハ如何ナル産業ヲドウスルカ、ドウ云フ様ニ致スカ、其ノ先ヅ第一ノ目標ガ必要デアリマ
ス、其ノ程度ヲ如何ナル程度ニスルカト云フコトモ其ノ目標ガ必要タラウト思フ、ソレ等ニ付キマシテバ
一應幹事ノ方ニ於キマシテ色々ノ目標ヲ豫想致シマシテ其ノ方向ヨリ色々調査ヲ進メテ居リマスガ、併シ
其ノ幹事ノ方ニ於キマシテ色々調査シテ居リマスル目標ハ果シテ適當デアルカ否ヤト云フコトニ付キマシ
テハ段々皆様ノ御意見ヲ伺ヒマシテサウシテ其ノ適正ナルヤ否ヤ判斷ヲ加ヘテ貰ヒタイ、現在ニ於キマシ
テハドウ云フ目標デ如何ナル數字ヲ總ムベキカト云フコトヲ具體的ニ申上ゲル時機ニ達シテ居ナイ、會
ノ進ミマスニ連レマシテサウ云フ目標ニ付キマシテハ段々トコナラノ考ヘモ申上ゲ又御意見ヲ伺ヒタイ、
斯ウ考ヘテ居リマス、結局或ル特殊ノ物資ニ付キマシテ其需給關係ヲ明カニ致シマシテ、サウシテソレニ
對シテ具體策ヲ立テルト云フ段取りニナラウト思ヒマス、其ノ點ハ段々ト此ノ議事ノ進ンデ參リマスニ付
キマシテ色々ノ材料ヲ御手許へ提供シタイト存ジテ居リマス

○二十二番(加藤議員) 突然ノ御諮問ナリ、私モ具體的ノ意見ヲ述ベルト云フ時期ニハ達シテ居リマセ
ヌガ、二三御伺ヒ旁々申上ゲテ見タイト思フコトガゴザイマス、大體此ノ計畫經濟ト申シマシテモ二通リ
アルヤウニ思フノデアリマス、露西亞トカ亞米利加トカ云フ國ニ於テ計畫經濟ヲ立テ、居リマスルノハ、
ソレハ國民生活ノ向上ト云フコトヲ目標トシテ立テ、居ルノデアリマス、併ナガラ獨逸、伊太利、或ハ日
本ノヤウナ資源ノナイ國ハ、之ヲ持ツテ居ル國ノ計畫經濟トハ自ラ違ツタ計畫經濟ヲ立テ、行カナケレバ
ナラヌノデアリマシテ、是ニ付テハ露西亞ヤ亞米利加ノヤウナヤリ方ニハ行カナイダラウト考ヘラレルノ
デアリマス、從ツテ大體カラ申シマス、國民ノ生活ニ對シテ或程度迄犧牲ニ供スルト云フ覺悟ガナケレ
バ計畫經濟ガ立タナイモノデナカラウト考ヘルノデアリマス、其ノ標準ヲ何處ニ置クカト云ヘバ、矢張
リ國防ト云フ所ニ標準ヲ置カナケレバイカヌ、ソレハ國防ト云フ點カラ申シマス、果シテドウ云フ資源
ガ國防ニ必要デアルカドウカト云フ點ガ非常ニ難カシイモノデアリマシテ、廣イ範圍ニ於キマシテハ總テ
ノ物資ガ皆國防ノ資源ニナリ得ルノデアリマス、併ナガラ自ラ國防ニモ第一義第二義ト云フ風ニ分チ得
ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレデ國防ノ第一義トハ何デアルカト云フコトニ付テ伺ヒタイト思フテ居ル
ノデアリマス、鐵トカ鋼トカ或ハ又石炭石油ノヤウナ燃料、機械トカ船、軍艦ト云フヤウナモノハ無論國防
第一義ニ屬スルモノデアリマスガ、尙近世ノ國防或ハ軍事ノ關係カラ言ヒマスト隨分國防第一義ト云フ品
目ノ範圍ガ廣クナツタヤウニ承ツテ居リマス、ドウ云フモノガ國防第一義トシテ考ヘルルベキモノカト云

二七

二八
フ品目ニ付テ御伺ヲ致シタイト思フデアリマス、サウシテ此ノ國防第一義ノモノハ我々ノ標準トシテハ是ガ非デモ我國ニナクテナラナイモノナシデアリマス、從ツテ我國ノ資源ヲ有スル方面カラモ動員シテモラ、其ノ第一義ノモノノ品目ニ對シテ所定ノ數量ダケ締ヘテ行カナクレバナラナイデアリマスガ、此ノ數量ニ付キマシテモ、只今安邦議員ノ御シヤツテ居ル通りドノ位ノモノガ國防第一義ノモノトシテ必要デアルト云フ標準ヲ伺ヒタイデアリマス、即チ國防第一義ノ品目、數量等ニ付テ伺ヒシテ戴ケバ、ソレニ對シテ内地ニハドレダケ出來ル、外地ニハドレダケ出來ル、或ハドウシテモ其ノ原料ノ一部分ハ海外ノ輸入ニ依リテナラヌト云フ數字ガハツキヨリ判ラウト思フデアリマス、國防第二義ノモノモ勿論大事ナコトデアリマス、私共ニハ解リマセスガ、或ハ此ノ重要食料品トカ或ハ「バルブ」、棉花ト云フヤウナモノハ國防第二義ノモノデアリカト思フデアリマスガ、是レ等ニ付テモ大體我國トシテドレダケ第二義ノモノデアツテ、サウシテドノ位ノ數量ヲ必要トスルト云フコトヲ伺ヒタイデアリマス、第三義ノモノニ至リマスト、或ハ警備品デアルトカ、嗜好品デアルトカ、所謂國防上ニハ大シテ大事ナモノデアナイモノモアルデアラウト思フデアリマスガ、是レ等ニ付テハ場合ニ依ツテハ國內生産ト云フモノモ或程度マデ制限スル、或ハ輸入ノ如キ或程度マデ禁止又ハ制限スルト云フコトモ、或ハ國際貸借ノ上ニ於テハ必要デアナイカト考ヘルデアリマス、ソレダ第一ニ合意ノ所ヲ申上ゲマス、サウ云フ品目ヲハツキヨリ分ケテ戴イテ、ソレニ對シテ數字ヲ伺ヒシテ戴ク、而モ若シ政府ニ於テソレノ産業ノ分布ニ付テ御計畫ガアル

二九
バ伺ヒシテ戴ケレバ大變ニ仕合セダト考ヘルデアリマス、先程カラノ御話ノ國際收支ノ「バランス」ト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ無論已ムヲ得ナイ輸入ニ對シテハ出來ルダケ制限ヲシ、輸出ニ向テ出來ルダケ獎勵ヲスルト云フノハ、是ハ當然ノ原理デアリマスガ、只今申シマセヨウニ、我國ノ軍戰時體勢ノ下ニ於テ計畫經濟ヲ立テマスル上ニ於キマシテハ、ドウシテモ或程度マデ輸入ニ對シテ國家管理ト云フヤウナモノガ必要ニナツテ來ルノデアナイカト思フデアリマス、勿論國防第一義ノモノハ國內及ビ我國ノ勢力圈内ニ於テ出來ルダケ資源ヲ獲得又ハ開發ヲ行フデアリマスガ、同時ニ又代用品ト云フヤウナモノニ付テモ十分考究スル必要ガアルノデアナイカト思フデアリマス、尙又斯ク云フ國防上ノ大事ナ品目ヲ製造スル場合ニ於テ、殊ニ考慮シナクレバナラヌノハ一箇處集中主義ノ危險デアリマス、是レ等ニ付キマシテハ政府ニ於テソレニ對シテ御計畫モアルト思ヒマスガ、一箇處ニ此ノ生産ヲ集中スルト云フコトハ餘程危險モ伴ヒマスルト同時ニ、又其ノ土地々々ノ産業上ニモ影響スル所ガ非常ニ大キイデアリマスカラ、矢張り政府ノ御示シニナツテ居リマスルヤウニ適地適策主義ヲソコヘ加味シマシテ、サウシテ各地ニ分散セシメルヤウニ御考ヲ願ヒタイト考ヘルデアリマス、デ、輸出振興ト云フコトニ付キマシテハ誰モ皆考ヘテ居ルデアリマスガ、是ニ付キマシテハ第一ニ海外ノ重要市場ニ於テ相當ナ陣容ヲ備ヘテ、サウシテ能ク其ノ土地ノ經濟狀態ヲ調べルト云フコトモ必要ダト思フデアリマス、其ノ調べル方針ノ一ツトシテ私ノチヨット心付イタコトヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、近東及ビ濠洲或ハ中南米、我國ノ輸出可能ノ各國ニ於

テ其ノ國ヘノ輸入ヲ第一番ニ調べ上ゲテ賈ヒタイト思フノデアリマス、勿論國々ニ依ツテ其ノ國ノ需要ハ
 違フノデアリマスルカラ、各地々存ノ輸入ハ千差萬別デアルニ違ヒナイノデアリマス、其ノ國ニ其ノ土地
 ノ産業ノ興ツテ居ルモノ、或ハ産業ノ十分興リ得ルヤウナ可能性ノアル商品ニ對シテハ、我國カラ輸出ス
 ルト云フコトガ甚ダ困難デアルバカリデナク、非常ニ問題ヲ起シ易イト思フノデアリマス、又第三ニ其ノ
 國ニハ産業ガ興ツテ居ラナイデアリマシテモ、政治的或ハ經濟的ニ非常ニ密接ナ關係ノアル國カラシテ輸
 入ヲ圖ツテ居リマスル商品ニ對シテ、我國カラ競争ヲスルト云フコトガ、是レ亦非常ニ摩擦ヲ起ス問題ダ
 ト思フノデアリマス、併ナガラ其ノ國ニ於テ産業モ興ツテ居ラズ、又政治的ニ重壓ヲ受ケテ居ル國カラノ
 輸入モナイ、即チ全ク第三國カラ輸入サレテ居ルト云フ商品ト云フモノヲ調べ上ゲテ行クト云フコトハ非
 常ニ重大ナ問題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、是レ等ニ對シテ我國ノ輸出ヲ獎勵スルト云フコトハ、我國ノ
 産業ニ障礙ヲ與ヘナイバカリデナク、本國領土トノ政治的關係カラ起ル外交上ノ問題モナク、而モ我國ノ輸
 出ヲ相當助長スル道デヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、數年前ニ支那ヲ除イタ東洋ノ八ヶ國貿易ニ關
 シテ檢討ヲ加ヘテ見マシタトコロガ、全ク第三國カラ入ツテ居ル品ダケデモ十四億ト云フ數字ヲ示シテ居
 ルコトヲ、私ハ調べ上ゲタコトデアリマス、勿論今日ハ非常ニ殖エテ居リマセウシ、支那ト云フヤ
 ウナ大キナ市場モソレニハ除イテアルノデアリマス、是ニ對シテ斯ウ云フ品目ト云フ風ニ、其ノ國々ニ向ツ
 テ我國ノ商品ヲ輸出獎勵スルト云フコトハサウ困難ナクシテ實現サレルモノデハナイカト思フノデアリマ

ス、唯此ノ際ニ一ツ申上ゲタイノハ、私ガ調べタ時ニハ、サウ云フ第三國カラ輸入サレテ居ル物デモ、日
 本ノ産業ノ興ツテ居ラナイモノガ仲々澤山アツタノデアリマス、又日本ニ産業ガ興ツテ居リマシテモ、其ノ
 國ニ向カナイヤウニナツテ居ルノモアリ、我國ノ産業ハ大體國內消費ト云フモノヲ目標トシテ興ツテ來テ
 居ルノデアリマス、輸出ト云フコトヲ主眼トシテ興ツテ居ル産業ハ極ク僅カデアリマス、從ツテ只今申上
 ゲマシタ通りニ第三國ニ適スル品目ニ對シテ輸出ヲ獎勵スルト云フコトニナリマス、日本ニ於ケル工業
 ニ對シテ多少ノ「モディファイケーション」ヲ加ヘナケレバ理想ガ實現サレナイトモ思ヘルノデアリマス、又
 輸出獎勵ノ一ツノ「アイデア」トシテハ我國ノ輸出ノ大宗ニナツテ居リマスル生絲、三億以上ノ輸出ニナツ
 テ居ルヤウニ思ツテ居リマスガ、是ノ輸出ニ對シテモウ少シ我國トシテ統制ヲ圖ツテ行ツタラドウカ、只
 今ノ所デハ皆サン御承知ノ通り最低相場ニナツテ居リマスノデ、何時デモ日本カラ出ルモノハ割ノ惡イ所
 バカリ賣ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテモウ少シ國家的施設ヲ加ヘテ行ツタナラバ、是モ多少良イ
 値ガ出ルト云フコトハサウ難カシクナイヤウニ思ヒマス、從ツテ國際收支ノ貸借上ニ於テモ相當有利ナ
 「ファイギニア」ガ出テ來ルダラウド思ヒマス、斯ウ云フヤウナ輸出輸入ト云フコトニ付テ、政府ノ方ニ於カレ
 マシテドウ云フ風ナ今方針ヲ御樹テニナツテイラツシャルカ、其ノ邊モ一ツ伺ハシテ戴ケルト大變ニ好都
 合ダト思ヒマス、扱テ元ニ戻リマシテ國防第一義ノモノ、國防第二義ノモノ、即チ國防第一義ノモノト云フ
 モノハ戰爭ニ必要ナモノデアルト思フノデアリマス、ソレカラ第二義ノモノハ原料ニナルモノデアリマス、

即ち原料ハ外國カラ取ツテ居ルモノガ多ク、ソレヲ以テ製品ヲ拵ヘテ外國へ賣ツテ相當ノ利益ヲ得ル、或ハ國際貨價ノ收支ノ「バランス」ヲ良クスル、斯ク云フ意味ノ原料ニ付テハ輸入ヲ圖ルハ當然ト思ヒマスガ、此ノ輸入ヲ圖ルニハ成可ク日本ニ近イ所カラ輸入ヲスルト云フコトガ最モ肝要ト思フテ居リマス、此ノ日本ニ近イ所カラ何處カラ輸入ノ物ヲ持テ來ルト云フコトモ、御計畫ノ中ニ入レテ御研究ヲ願フコトガ肝要ト考ヘテ居ルノデアリマス、チヨット思付キダケ申上ダテ次第デアリマス、

○十七番(村田議員) 私モ御指名ヲ受ケマシタ一人デゴザイマスガ、何方申上ダテイト思フノデアリマスガ、矢張り突然斯ク云フ御諮問ヲ受ケマシテ、之ニ對スル的確ヲ御答申上ダシテ、併シ最前カヲ安用ヲ加藤君カラ三原則ニ對シテ具體的ノ御説明ヲ拜聽シタ、其他色々御尋ネガアリマシタガ、私ハ總テジレハ同感デアリマス、之ハ是非此大ノ機會ニ承リテイト思ヒマス、ソレデ私ノ御指名ニナリマシタノハ恐ラク海運下云フ點カヲト思ヒマス、海運ニ關シマスル内外地ノ綜合的經濟政策ト申シマスレバ、之ヲ簡單ニ申上ダシマスレバ外地行政ノ統一ト云フコトヲ希望スル、此ノ事ニ對シマシテハ又後ノ機會ニ詳シク申上ダテイト思ヒマス、丁度立チマシタ序ニ此ノ我國ノ經濟開發產業増進ノ上ニ於キマシテハ是非各位ノ御協力ヲ願ヒタテイト思ヒマス、最近此ノ輸出入「バランス」ノ問題カラ及ビ重要原料輸送ノ船舶ノ缺乏ノ點カラ海運ガ如何ニ重要デアルカト云フコトガ朝野ノ間ニ認識サレテ參リマシタ、此ノ事ニ關シマシテモ又適當ノ機會ニ申上ダテイト思ヒマス、海運ニ關連シマシテ私ハ日本トシテ產業開發ノ方針トシテ最

モ必要ナルコトハ水ノ利用ト云フコトヲ御考ヘテ願ヒタテイト思ヒマス、陸上ニ於キマシテ水利開發ノ甚ダ必要ナルコトハ申上迄モアリマセヌ、併シ一面海上及ビ海中、是レノ資源ヲ開發スルコトガ最モ必要デハナイカト思ヒマス、海上ハ船舶、海運デアリマス、海中ハ漁獲或ハ水中ノ開發デアリマス、由來日本人ハ今日ハ少シ進ヒマスガ、大戰前迄ハ凡テ歐羅巴ニ於テ發達シタ事業ガ日本デ發達シタ、随ツテ水産ノ如キハ芝ハ歐羅巴デ發達シテ居ラスモノデアリマスカラ日本ニ發達シナカッタ、然ルニ此ノ水産ナルモノハ是ハ或ル意味ニ於テ日本ノ最モ優レタル地理的關係或ハ國民性其ノ他ニ於キマシテ最モ必要ナルモノデアリマシテ、之ハ船舶職員ノ領分ニ屬スルモノト思ヒマスガ、私ハ水産ニ關シテモット「力ヲ入レルコトガ必要デハナイカト思フ、例ヘテ申シマスル水産局ハ何處ニアルカト聞カレルト之ハ直グ答ヲ出スコトハ民間デハ出來ナイ、水産局ハ農林省ニアル、之ハ一考ヲ要スルコトデハナイカト思フノデアリマス、尙此ノ點ニ付キマシテハ機會ガアレバ申上ダテイト思ヒマス、此ノ綜合的經濟政策ニ付イテハ水ノ利用ト云フコトニ重點ヲ御置キニナルコトヲ御願ヒスル、ソレカラ内外地ト書イテアリマスガ、恐ラク此ノ問題ハ内外地ニハ止マラス、支那、「フィリッピン」アタリモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、今日ハ企業總裁トシテ外務大臣閣下ガ居ラレルヤウデアリマス、御差支ヘガアルカ知レマセヌ、出來マスナラバ我々ハ北支那ニ對シマシテ非常ノ關心ヲ持ツテ居リマス、御差支ヘナイ限り時間ガゴザイマシタナラバ御話ヲ願ヘマスレバ大變結構ト思ヒマス、支那問題或ハ「フィリッピン」問題、此「フィリッピン」ハ近ク獨立スル管ニナツテ居

リマス、此ノ獨立ニ對シテ經濟關係ハドウナルカ、日本トシテハ考ヘナケレバナラヌコト、存ジマス、サ
ウ云フ點又此ノ會議ノ進行ニ連レマシテ色々政府當局ノ御意見ヲ承ツテ又我々モ申上ゲタイト思ヒマス、
御指名ガアリマシタカラ是レ丈ケ申上ゲテ置キマス

三四

○二十五番(藤原議員) 御指名ニ依リマシテ申上ゲマスガ、私ハ本日御諮問ニナリマシタ綜合經濟政策ニ
付キマシテ之ヲ二通りニ考ヘテ見テ居リマス、一ツハ應急ノ政策、直チニ實行シナケレバナラヌ政策、ソ
レカラ一ツハ根本政策、斯ウニツニ分ケテ考ヘマシテ、此ノ根本政策ニ付キマシテハ何レ又特別委員會ガ
出來マシテ益御審議モゴザイマセウト存ジマスカラ其節ニ私共ノ愚存ヲ申上ゲル機會モゴザイマセウト
存ジマスカラ、ソレニ譲リマシテ應急策ニ付キマシテ私ハ平素考ヘテ居リマスカラ此場合ニ申述ベマシテ
御參考ニ供シタイト思ヒマス、先刻來皆様カラ代ル御話ガゴザイマシタ其中ニ矢張り其ノ國際貸借トシテ
云フ問題ハ繰返シテ御陳述ニナツテ居ル、私共モ矢張り其ノ今日國際貸借ト云フ問題ハ應急ノ問題トシテ
非常ナ重大問題ト存ジテ居リマス、大藏當局ニ於キマシテモサウ云フヤウナ御考ヘノ御様子ニ拜承致シマ
ス、ソレハ諸外國ノ方ニ於キマシテハ日本ハ總テノ點ニ於テ非常ニ發展シテ居ルガ、財政ノ上ニ於テ非常
ナ危機ニ際シテ居ルト云フヤウナ風ニ見テ居ル者ガ非常ニ多イヤウデアリマス、過日モ「ポストン」ノ新聞
記者ガ參リマシテ、斯ウ云フ状態デ年々十億ナリ十二三億ノ公債ヲ發行シテ行ツテ果シテ日本ハ今後財政
上無事ニ經過スルコトガ出來ルカト云フヤウナ質問ヲ私ノ所ヘ參リマシテ言ヒマシタ者モゴザイマス、ソ

レデ其時ニ又其以前カラ外交上ノ重大ナ問題ガ起ル度毎ニ諸外國ノ方面カラ見マスルト日本ハ軍事上ニ於
テハ非常ニ強イケレドモ財政上ハ非常ニ弱イ、今ニ財政上ニ破綻ヲ來シテソレデ參ツテシマウダラウト云
フコトヲ言ウテ居ル者モ澤山アルノデゴザイマス、ソレデ之ハ果シテドウ云フモノデアウラカト思ヒマシ
テ段々私モ考ヘテ見マシタ所ガ、今日ハ其ノ數字ヲ持參致シテ居マセスカラ、一々數字ヲ擧ゲテ申上ゲルト
宜シイノデスケレドモ、其ノ數字ヲ持參致シマセスカラ私ノ頭ノ中ニアリマスコトニ依ツテ申上ゲテ見ヤ
ウト存ジマス、多少其ノ數字的ニ相違ガアルカト存ジマスガ、ソレハ御許ヲ願ヒマス、私ノ考ヘニ依ルト
此ノ諸外國カラ見テ日本ハ財政上危機ニ瀕シテ居ルナドト云フハ非常ニ間違ツテ居ル、日本ハ財政上ニ於
テモ諸外國デ見ルヤウナ非常ニ弱イ立場ニハ立ツテ居ラス、丁度我日本ノ國體ガ世界無比デアルヤウニ我
日本ノ財政モ世界無比ノ財政デアル、ソレヲ諸外國ト同ジヤウナ見地カラ日本ノ財政經濟ヲ論ズルカラサ
ウ云フ誤リニ陥ルノデアル、斯ウ云フ様ニ私ハ外國ノ新聞記者ナドニ説明シテ置キマシタ、其ノ説明ヲ一
通り申上ゲマスレバ詰リ私ノ見ル所ニ依ルト、今日ノヤウナ軍事工業ハ盛ンニナリ一般ニ景氣ガ宜イ、斯ウ
云フ景氣ノ時デナクテモ日本ノ大藏省デ自然増收ト云フモノハ約一億圓位ハアリマシタ、是ハ數字ハ極ク
簡單ニ申上ゲマスカラ多少ノ相違ハアラウト思ヒマス、今日ノヤウニ色々景氣ガ好クナツテ來マスレバ、
恐ラク二億圓位ノ自然増收ハ必ラズアルト思フ、サウシマスルト之ガ毎年二億圓ノ自然増收ガアルトスレ
バ十年經テバ二十億圓ニナル、假リニ之ガ一億圓宛毎年殖エテ參リマシテモ十億圓位ノ赤字公債ハ何デモ

三五

ナイト云フコトニナル、餘リ其ノ信用ガ置カレナイヤウナ場合デアリマスルカラ尙能ク調ベテ見マスルト、日本ノ海外輸出貿易ト云フモノハ、ドノ位殖ニルカト申シマスルト多イ時ハ三割、少クテモ二割、最近ニ於キマシテハ、此ノ五六六年ハ輸出貿易ハ倍ニナツテ居ル状態デアリマシテ、斯ウ云フ國ハ世界ニ無イ、此ノ如クドノ國ノ貿易ヲ調ベテ見マシテモ世界デ日本ノ如キ非常ニ躍進シテ居ル國ハナイ、即チ日本ノ産業ハ此ノ如ク毎年々々非常ニ速力ヲ以テ増加シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ斯ウ云フ工合ニ日本ノ産業ガ毎年非常ニ速力ヲ以テ増加シテ進歩シ發展シテ參ツテ居ルノデアリマスカラ隨ツテ國庫ノ歲入モ其ノ産業發達ト共ニ毎年非常ニ金額ガ這入ツテ來テ、ソレガ又其ノ自然増收トハツテ現ハレテ來ル、サウ云フ風ニ考ヘテ見マスルト今日ノ日本ノ經濟ニ付イテハ何ヲ悲觀スルカ、先刻津田議員カラ御話ノアリマシタ通り今年ノ上期ノ輸入超過ハ六億圓、前代未聞ノ輸入超過デテル、一口ニ言ヘバソレモ悲觀スル材料ニナリマセウケレドモ、併シナガラ其ノ社會ノ情勢ヲ能ク檢討シテ見ルト平素ナラバ六月トカ三月トカノ備ヘラズレバ宜シイ所ノ棉花、羊毛、鐵、ニアルト云フヤウナ商品モ、今日ノヤウナ時勢ニナリマスルト、我國際貨幣ハドウナルカ、爲替ガ果シテ維持スルコトガ出來ルカ出來ナイカト云フヤウナ所イ一ノ精神作用ト云フモノガ働イテ參リマスカラ、自然ニ輸入スベキ原料ヤ何カハ出來ル丈ケ多ク輸入シテ置カウト云フコトハ之ハ當業者トシテ當然デアリマス、國民トシテ其ノ業ニ從事スル以上サウ考ヘルイハ當然デアリマス、決シテ之ハ非難シタリ攻撃スルコトハ出來ナイ、サウ云フ譯デアリマスカラ此ノ原料ノ

輸入ガ平素ヨリ殖ニテ居ル、之ガ貿易上ニ現ハレテ六億圓ト云フヤウナ大キナ金額ニナルガ段々之ヲ煎ジ詰メテ考ヘテ見ルト今日言ワタキウナ理由ヲ殖ニテ居ルイデ、之ハ大シキ心配ヲ要サザイ、ソレヲナセ皆心配スルカト云フベ免ミ角サウ云フヤウナ状態デアリマシテ此ノ爲替ガ維持出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ皆心配スル、ソレヲ大藏大臣ハ聲ヲ大キタシテ斷ツテ爲替ヲ維持スル、斯ウ云フ御聲明ガアツテ、御聲明ハアツタヤレドモ何ヤカソレニ不安ガアル、果シテ維持スルコトガ出來ルデアラウカ、出來ナイデアラウカ、斯ウ云フコトニナル、ソレハ日本ノ内外地ノ貿易ノ數字丈ケ見ルト雖モサウイイト思フ、先刻申シテ通過シ自然増收ガカリテモ何億ト云フモノガ殖ニテ居ル、又貿易ガ何割殖ニテ居ルト云フ状態ガ見マシテモ少シ位輸入ガ殖ニテ居ルト云フ決シテ心配ハナイ、先刻申シタカガ御話シガゴザイマシタ滿洲ニ五年計畫上云フモノガ出來タ、アレハ六十億トカ或ハ百億ト云フ金ヲ使フト云フコトガ新聞ニモ出マシタ、併シソレハ果シテ何十億ト云フ金ガ滿洲デドウ云フ計畫ニ使ハレルカ知ラズガ、其ノ或ル程度ノ金デアリマスレバ、ソレハ日本ノ内閣ヲ參リマスカラ大シキ心配ハナイト思フ、併シサウ云フコトガ時々新聞ニ出ルハ其ノ内容ガ不明デアリマスカラ一般國民ハドウ云フ様ニナルデアラウト云フコトガ不安ヲ持ツテ居ル、ソレヲ離令モ青木議員カラシテ其内ニ御發表ニナルト云フ御話ガゴザイマシタ、私共ハ非常ニ喜ンデ居ル、ドウカ早ク御發表ヲ願ヒマセウ、ソレデ國民ヲシテ我國ノ財政ヲ維持シテ見テモ横カヲ見テモ何處カラ見テモ少シモ不安ガナイヤウニ、國民ヲシテ安心セシメルコトガ之ガ此ノ際最モ必要

デアルト私ハ思フ、ソコデ我々ハサウ云フ問題ニ付テハ數字的研究致シマシタ、總テ數字的研究ニ土臺ヲ置
イテ研究致シマシタ、又經濟問題ハ數字ノ上デ檢討スルコトハ當然デアリマス、其ノ數字ガ確カデナクテ
ハイケナイト云フコトハ當然デアリマスガ、併シ其ノ場合ニ於キマシテ數字ノ外ニ精神的研究モ非常ニ
重要ナコトデ、國民ノ精神ガ動搖シ不安ニカラレテ居ルト云フコトニナリマス、此ノ爲替問題ナドニ付
キマシテハドウシテモ面倒ナ結果ヲ惹起スル虞ガアルト思フデアリマス、ソコデ私ハ我國ノ國際貸借ノ
問題ハ根本的ニ於キマシテハ、ドウシテモ今現ニ今年ハ輸出ハ減ツタト申シマシテモ三割カラ二割五分殖
エテ居ル、昨年ハ三割殖エテ居ル、今年ハ二割又來年ハ三割、斯ウ云フ風ニ輸出ノ方ヲ益々増加セシメテ國
際貸借ヲ有利ニ導クト云フコトハ最モ必要ト思フ、同時ニ今日此ノ場合ニ於ケル應急策トシテハ國民ヲシ
テ日本ノ經濟又財政ト云フモノハ根本ニ於テ歐羅巴諸外國トハ違ツテ年々發展シ、アルムデアルカラ差
支ヘハアルマイ、又五億六億ノ輸入増加ガアツテモ御心配ハアルマイ、又滿洲五年計畫モ之別ニ差支ヘ
アルマイ、又政府ハ斯ウ云フ方針ヲ以テ行クカラ爲替ヲ維持スルコトハ絕對安心デアルト云フコトヲ國民
ニ此際應急策トシテ徹底的ニ諒解致シマシヤウニ御指導ヲ願ウト云フコトガ一番必要デアリカト斯ウ思
ヒマス、サウ致シマシテ其ノ爲替問題ト云フモノガ完全ニ行クト云フコトヲ先ヅ以テ願ヒマシテ、ソレカ
ラ根本ノ問題ニ付イテ私共ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今日ハ折角御指名デゴザイマスガ、
氣ノ付キマシタコトヲ申上ゲマシタ

○廣田副議長 尙ホ兒玉議員、古田議員、津島議員、鮎川議員、有賀議員、松本議員、小林議員、八田議
員、野口議員ノ方々カラ色々各方面ノ御意見ヲ拜聴シタイト思フデアリマスガ、此ノ會ニ於キマシテハ
屢、此ノ會合ヲ開クコトモ困難デアリマスノデ、成ル可ク此ノ際御意見ノアル所ヲ十分ニ伺ツテ置キタ
イ

○二十四番(野口議員) 私ハ朝鮮ニ於テ仕事ヲシテ居リマスモノデ、今日ノ御諮問ノ内地外地ヲ通ジテノ
産業ノ統制ト云フヤウナコト、又之ニ關連シマシテ内地ノ産業ト外地ノ産業ノ摩擦ト云フヤウナコトガ能
ク言ハレマスルガ、朝鮮デハ現在デハ内地ノ産業統制法ガ「セメント」工業ヲ除キマシテハ全部自由ニナツ
テ居リマス、之ハ朝鮮ノ如キ産業ノ幼稚ナ所デハドウカシテ内地ノ産業ヲ呼寄セタイト云フヤウナ意味デ
産業統制ヲ受ケルゴトニナツテ居ルト思フガ、最近ハ朝鮮ニ非常ニ新シイ工業ガ起ルヤウニナツタ、所ガ其
ノ工業ヲ見マスルト極ク小部分ヲ除キマシテハ綿絲紡績、人造絹絲業ガ非常ニ多イ、現在ヤツテ居ルモノモ
澤山アル、又計畫サレテ居ルモノモ十以上モアル、所ガ是等ノ産業ハ現在内地ト外地ト云フモノヲ離シテ日
本ト云フ目カラ見マスルト即チ日本ノ生産能力ガ日本ノ需要ヨリ遙ニ多イト云フ産業デアルノデアアル、所
ガ日本デハマダ政府ノ必要トズル丈ケノ十分生産ガ出來ナイデ之ガ輸入ヲシテ居ルモノモアル、又國防上
其ノ他ノ意味カラ政府ガ陸海軍ノ方デヤリナケレバナラヌト云フ仕事モ澤山アル、所ガ最近ニ於キマシテ
ハ此ノ金融ノ梗塞ガ段々烈シクナリマシテ、サウ云フ仕事ヲヤルニ付キマシテモ仲々資金ノ融通ヲ得ルコ
ト

トガ困難ニナツテ來タ、ソレデアリマスルカラ私ハ此ノ産業ヲ二ツニ分ケテ日本ニ有餘ツテ居ル産業、足
リナイ産業、即チ益獎勵スベキ産業、若シ金ガ非常ニ餘ツタ時ハ別トシマシテ、サウデナイ時ハソレ等
ノ産業ヲ止メテサウシテソレニ使フ金ガナルカラ、ソレヲ日本デ大ニキラナケレバナラヌト云ラ方ノ仕事
ニ向テハキモノデハナイカト内地外地方ニ離レテ考ヘマスノデアリマス、ソレニ付キマシテハ之ヲ各人ノ自
制ニ待チマシテハ仲々行ハレマセヌ、何カ國家ノカラ以テソレヲ制限シテサウシテ有餘ツタ産業ヲ一時足
踏ミヲサセル、又モツト進ンデハ現在「セメント」ノ如キ之ハ五割以上モ生産制限ラシテ居ル、其「セメント」會
社ヲ持ツテ居ル機械ノ中デ外ノモノニ利用シ得ルモノガ澤山アル、所デ極ク最近ノ例ヲ見ルト、私ハ各
級江ノ水カラキラウツテ居リマス、ソレノ第一期ノ堰堤ニ使ヒマス「セメント」七十一萬噸、所ガソレヲ現
在朝鮮ニアリマス「セメント」會社カラ運ビマス、運賃未ダモ數百萬圓掛ル、所デ其ノ堰堤ノ工事場ノ
側ニ石灰ガアリマスカラ「セメント」工場ヲソコヘ立ツテ、出來マシタセメシトラ堰堤ニ使用スルト云フ計
畫ヲシテ其ノ機械ヲ買ホウトシマスルト、今日ハ仲々出來マセヌ、一年以上三年近ク掛ル、所ガ内地ニ來
テ見ルト「セメント」工場ハ半分廢テ居ル、其ノ機械ヲドウカ自分等ノ方ヘ分テ呉レルコトハ出來マイカト
ヒマシタケレドモ、ソレハ出來ナイ、何ゼナラバ其ノ機械ガアルカラ、ソレヲ入レテ生産制限ノ制置ヲ來
テ居ル、其ノ機械ヲ無クスト自分ノ所ノ生産ノ制置ガ減ルカラ、ソレハ出來ナイ、斯ウ云フコトデアル、
サウ云フ譯デアリマシテ今日ハ鐵ガ無クテ非常ニ困ル、機械ノ生産能力モ非常ニ缺乏シテ居ルサウデアリ

四〇

マスカラ、一ツ何等カノ規則ヲ設ケテサウウテ居ラヌ機械ハ之ヲ外ニ流用シテモ其ノ爲メニ生産ノ
制置ハ減ラナイキウナ方法ガ必要デハナイカト思ヒマス、之ハドウシテモ政府ノ力ニ依ル外ニ途ハナイト
存ジマス、簡單デアリマスガ是レダケ申上ゲマス

○一番(見玉議員) 私ハ今日何ニモ申上ゲル意見ハゴザイマセヌ、唯今御指名ニ與カリマシタノデ一寸立
チマシタ、今日ノ御諮問ハ國防並ニ國民生活ノ基調ニ關スル内外地ヲ通ジテノ綜合的計畫、斯ウ云フヤウ
ナ大キナ問題デアリマス、私ハ茲デ是レソト云フコトノ意見ヲ申上ゲル丈ケノカモゴザイマセヌ、又取調
モ致シテ居リマセヌ、併シ既ニ問題ニナリマシタコトハ國際收支ノ問題ト云フモノガ各議員ノ御方カラ出
テ問題ニナツテ居リマス、唯今藤原サンカラ國際收支ニ付キマシテ頗ル樂觀的ノ御話ガゴザイマシタガ私
ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、國際收支ノ前途ト云フモノハ私ハ大ニ心配ヲ致シテ居ルモノデゴザイマス、
ソレデ其ノ國際收支ノ關係ニ付キマシテ唯今内外地ヲ通ジテト斯ウ云フコトデアリマスガ、外地ノ中ニハ
滿洲ハ這入ラス、斯ウ云フ御説明デゴザイマスガ、實際ハ滿洲ヲ考ヘナイデ此ノ問題ハ研究出來ヌ、斯ウ
云フコトデゴザイマス、ソコデ合國際借借ノ上カラ日本ト滿洲國ノ貿易ノコトヲ考ヘマスルト日本カラ滿
洲ヘ出テ來マスモノハ貿易表ニ於テハ輸出ト云フコトニナツテ居リマス、私ノ考ヘマスノデハ滿洲ヘ出テ
來マス物ト云フモノハ輸出デハアリマスルガ、實際ニ於テハ朝鮮臺灣等ニ出テ行キマス所謂移出ノ方ニ屬
スルモノデハナカラウカ、滿洲ヘ出テ居リマスモノハ結局對外資金ニナルモノデハナイ、斯ウ考ヘテ居ル

一四

ノデアリマシテ、私共ハ日本ノ國際收支ヲ考ヘル時ニソレヲ念頭ニ置イテ考ヘテ居リマス、隨ツテ此ノ日本
 本デ會社ヲ拵エマシテ事業ヲ滿洲ニ送ル、之ハ移出ニナリマス、實際對外資金ニモ
 何ニモナリマセズ、日本デ事業ヲ起スト同ジ結論ニナツテ來ルト思フ、併シ其ノ仕事ガ段々良クナリマシ
 テ、サウシテ其ノ利益ト云フモノハ自然ニ日本ノ爲メニナル問題ダラウト思ヒマス、併シ其ノ出テ行キマ
 ス商品ト云フモノハ直接日本ノ對外資金ヲ豊富ニスル役ニ立ツテ居ラス、併ナガラ貿易ノ上ニ於テ入超六
 億ト云ヘバモット實際ニ餘計ナ入超ニナルノデハナカラウカ、斯ウ考ヘタ方ガ安心デハナイカ、斯ウ考ヘ
 マス、然ラバ滿洲ヘ出テ行ツタモノハ皆ソレハ輸出ニナラスカ、斯ウ考ヘマス、滿洲カラ日本ヘ對スル貿
 易ヲ除キマシタ即チ日本以外ノ滿洲國ノ貿易ハ若シ滿洲國ガ日本以外ノ國ニ對シテ輸出超過トナレバ夫レ
 丈ケハ結論トシテ日本ヘ這入ツテ來ルノデハナカラウカ、今日ハ滿洲ノ統計ヲ持ツテ來テ居リマセヌガ、
 日本以外ノ國ニ對スル貿易ハ滿洲カラ相當輸出超過ニナツテ居リマス、ソレ丈ケハ日本ヘ取ル勘定ト見テ
 宜クハナイカト考ヘマス、隨ツテ滿洲國ト云フモノヲ一緒ニ考ヘマシテ綜合計畫ヲ立テマスニハ、サウ云
 フ點ヲ矢張り考慮ニ置イテ立テルコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘマス、其ノ點丈ケヲ唯今御
 指名ヲ受ケマシタニ付キマシテ、責ヲ塞グ爲メニ申上ゲマシタ次第デアリマス

○三十一番(青木臨時議員) 唯今ノ御意見ニ付キマシテ一言申上ゲマス、我國ト滿洲トノ關係ニ付キマシテ
 經濟上ニ一體ノ政策ヲ採ツテ行クト云フコトヲ屢申シテ居リマスノハ今御話ノヤウナ點ヲ含メタ意味デアリ

マシ、殊ニ一昨年貨幣ノ統一政策ヲ採リマシタ以來ハ御話ノ如ク事實上ニ一ニシテニアラズト云フ關係ニ
 アルト思ヒマス、其ノ後益々此ノ一體性ヲ強化シテ行クト云フ方針デキツテ居リマス、御話ノ如ク我國ハ
 滿洲ニ對スル輸入超過ハ三億内外ニアルト思ヒマス、之ハ在外資金トシテ之ヲ宛テルコトハ出來ナイデア
 リマスガ、私ノ考ヘテ居リマスハ貿易上サウ云フ關係ニアルト同時ニ他ノ半面ニ於キマシテ對滿投資ヲ
 問題デアリマシテ、之ハ從來我國ト滿洲ト連ツタ貨幣制度ヲ立テマシタ時ハ對滿投資ハ海外投資トシテ外
 國扱ヒラシテ參ツタノデアリマスガ、今日ハ此ノ三億以上ノ對滿投資ニ付キマシテモ矢張り一體觀念デ綜
 合計畫ヲ立ツテ行ク、全ク日滿一體ト云フ根本ノ考ヘ方デ處理シタイト云フ方針デアリマス

○三十一番(有賀議員) 唯今兒玉議員カラ滿洲貿易ノ爲メノ考ヘ方取扱方ニ付イテ御話ガアリマシタ、ソレ
 ニ關連致シマシテ私モ簡單ニ申述ベテ見タイト思ヒマス、御話間ハ内外地トアリマスガ、矢張り問題ハ滿
 洲ヲ總括スル意味ニナルノデアリマス、而シテ又日滿ハ一體デアアル、又南朝鮮總督ハ鮮滿一如デアアルト
 云フコトヲ申述ベテ居リマス、又實際問題トシマシテ工業ハ朝鮮及ビ滿洲ト共同ノ仕事トシテ或ハ滿洲ト
 朝鮮ノ間ニ國際橋ヲ掛ルト云フヤウチ状態デアリマス、而シテ二ツノモノハ二ツデアアルト申シマスルケレ
 ドモ其ノ間ニ割然トシテ關稅線ガ付テ居ル、此ノ關稅線ガアリマス以上ハ一體デアアル、二ツデアアルト申
 シマシタ所ガ實際ハ二ツデナイノデアリマス、關稅線ガ設定シテアリマスレバ即チ之ハ對立ノ關係デアリ
 マス、私ハ窮極ノ所トウシテモ日滿ノ間ノ關稅線ヲ撤廢スルコトガ日本經濟ノ根本デアリ滿洲經濟ノ基調

デアルト考ヘルンデアリマス、併シ此ノ關稅線ヲ取ルト云フコトハ仲々條約ノ扱ヒ色々ナ點ニ於テ隨處難
點ガアラウト思フデアリマスガ、之ハ如何ナル難儀ヲ凌ギヤシテモ此ノ關稅線ハ取ラテケレバナラヌト
思フノデアリマス、今直チニ之ヲ取除クコトガ出來ヌト致シマシテモ或ハ品目ノ選定或ハ稅率ノ目盛等ニ
於キマシテ其ノ目的ヲ達成スルノモニノ方便デアリマス、私ハ何レニシヤシテモ此ノ日滿ノ關稅線ヲ取ラ
ナケレバナラヌト考ヘルンデアリマス、之ニ就キマシテ政府ニ於テカレマシテハ從來其方面ニ向テ御
研究ニナリマシタコトガナリマスカ、或ハ之ハ幾ラ考ヘテモ實際不可能デアルト御考ヘニチリマスカ、或
ハ之ニ對スル緩和ノ方法ガ出來ヌレバドウカソレヲ御示シテ願ヒマスレバ仕合セト存ジマス

○三十番(石渡臨時議員) 有賀サシノ御尋ネノ日滿關稅ノ問題デゴザイマスガ、此ノ日滿間ノ關稅ト云フ
モノヲ撤廢スルコトデアリマスガ、之ヲ撤廢スルコトハ今日ノ場合之ハ經濟上ノ立場カラ云ヒマシテモ餘程
大キナ影響ガアリマス、果シテ實行出來ルヤ否ヤ餘程考ヘモノト存ジマス、主トシテ產物ノ關係デゴザイマ
スガ色々問題ガアルト思ヒマス、朝鮮ト内地ノ間ニ於キヤシテモ御承知ノ通り今日尙ホ實際ノ關稅ノ產物
ガアルノデアリマシテ、サウ差障リノナイモノナラ、此ノ關稅ガアルカラト云ツテ大シテ神經ヲ高ルル必
要ナルモノト考ヘマス、併ナガラ實際ノ問題ト致シマシテハ必要ナルモノニ付イテハ適宜之ヲ解決
シテ行キタイト考ヘマス、ソレカラ來日滿ニ於キマスル關稅協定ノ問題ニ付キマシテモ夫々攻究致シ
テ居ルヤウナ次第デアリマス

○三十一番(青木臨時議員) 私ヨリ滿洲側ノ立場ニ付イテニ言付加ヘテ置キマスガ、有賀議員ノ御話ノ如
ク關稅制度ト云フモノハ日滿一體性ニ付イテ諸種ノ障礙ヲ殘スト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、滿洲
國ガ數回ニ互ツテ實行シタ關稅改正ハ今御話ノ日滿ノ經濟ヲ成ル可ク一體性ニ持ツテ行クト云フ方向ニ向
ツテ改正サレテ居リマス、唯根本的ニ滿洲國トシテモ此ノ問題ヲ一舉ニ處分シ難イト云フニ番大キキ原因
ハ御承知ノ通り今日滿洲國ノ關稅ハ產業上ノ保護政策ノ目的ニ出ルヨリモ我財政上ノ目的ニ出テ居ルモノ
ガ多イノデゴザイマス、今日滿洲國ノ國庫ノ歳入ノ最モ大キナ項目ヲ爲シテ居リマス、此ノ收入ヲ一舉ニ
失ウコトハ相當困難デアリマス、唯我國トノ關係ハ我國ノ產業ガ出來ル迄滿洲國ハ進出シ易キ形ヲ取ツ
テ行クト云フコトハ今後滿洲國ノ關稅政策ニ付イテ考慮シナケレバナラヌコト、思ヒマス、今一舉ニ御話
ノヤウニ之ヲ處分スルコトハ滿洲國トシテハ困難デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○三十二番(古田議員) 何かニ言スルヤウニト云フコトデアリマスガ、此ノ生産力ノ擴充ガ三大原則ノ一ツニ
ナツテ居ル、之ガ斯ウ云フ會議デモ盛ンニ唱ヘラレ、生産部門ノ開發ト云フコトガ問題ニナツテ、之ガ非
常ナ勢ヲ以テ生産方面ニ發展ヲ示シテ居ルノハ誠ニ結構デアリマス、又斯クアルベキモノト思ヒマス、斯
様ナ際ニ又靜ニ考ヘル必要ナルノハ本當ノ此ノ際必要ナル生産事業ガ計畫サレ擴大サレルト云フコトハ
固ヨリ非常ニ大切ナコトデアリマスガ、丁度歐洲大戰當時ノ如ク何か知ラヌ、大シタ確信ガナイ、大シタ
經驗モナイガ何かヤツテ見ヤウト云フヤウナ考ヘガ出ルコトハ深ク注意シナケレバチラス、例ヘバ最近國

防工業ハ必要デアル、之ハ議論ノ餘地ガアリマセケレドモ之レガ爲メニハ其ノ手段ト基礎ト確信ト云フ
 モソヲ要スル、唯無暗ニ大衆ノ資本ヲ集メテ事業ヲヤルト云フコトハ結局終局ノ目的ヲ達シナイコトニナ
 ル、唯無暗ニ事業ヲ計畫スルト却ツテ資本ヲ害スルコトニナルト云フコトヲ考ヘルノモ此ノ際一ノ參考資
 料デハナイカト思ヒマス、此ノ際ハドウシテモ經濟界ノ大衆ニ對シ國家ノ力ヲ以テヤラナケレバナラヌ事
 業ノ種類トソレカラ比較的自由統制ニ依ツテヤラシテ行クヤウナ事業ノ種類、其次ハ比較的勝手ニスル仕
 事或ハ更ニ進シテハ此際寧ロ禁止スルヤウナ事業ノ種類ヲ大別シテ政府ニ於テ御決定ニナルコトガ、斯様
 ナ生産力擴充ト云フコトヲ聲ヲ大ニシテ居ル丈ケニ一層必要デハナイカト思ヒマス、例ヘバ資源ノ
 開發ニ付イテモ何トシテモ大ニヤラナケレバナラヌ、之ハソレ程デモナイト云フヤウニ輕重大小ヲ見テ決
 定シ、何デモ斯デモヤレバ宜イノダト云フヤウニナル其ノ半面ノ弊害ヲ矯正シテ行ク必要ガアルンデハナ
 イカト思フ、唯思付キヲ申上ゲマシタ

○十三番(松本委員) 私ハ餘リ大體ノ問題ニ付テ用意ハアリマセヌガ、此ノ今日ノ問題ニ付テ最モ考ニ置
 イテ置カナケレバナラヌト思フ點ガ二アルノデアリマス、ソレヲ御指名ニ預リマシタメ申上ゲテ見タ
 イト思ヒマス、第一今日此ノ生産擴充ト云フ必要ノ起リマシタコトハ、國防ノ充實ト云フコトガ第一義
 ニシテ居ルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、併ナガラ國防第一義トハ言ヒナカス、日本ノ資源、
 或ハ海外ヲ仰テ資源ニシテモ、此ノ資源ノ獲得スル難易等ヲ考ヘテ、事業ヲ撰ブト云フコトハ無論

ノコトデアリマスガ、其ノコト、ソレカラ企業ノ速度、此ノ二ツノ點モ非常ニ慎重ニ考ヘテ置カナケレバ
 ナラヌト思フ、一朝消費ノ方ニ狂ヒガ參リマス、擴充サレタ生産ノ餘力ハ海外ニ市場ヲ見付ケルヨリ外
 ナイ、海外ニ市場ヲ得ルト云フコトガ、机上デ論ズルヤウニ果シテ容易ニ行クカドウカ、此ノ點ハ頗ル重
 大ナモノデアルト思フ、一時擴充シタ企業ガ圓滑ニ製品ノ捌キヲ見ル間ハ宜シイガ、是ガ何處カ市場ヲ漁
 ツテヤラナケレバ捌ケ口ガタイト云フヤウナ場合ニ無理ニヤルナラバ、或ハ國內ノ消費ニ向ツテハ負擔ヲ
 多クシテ、海外ニ輸出スルモノハ安價ニスルト云フヤウナ途ヲ取ラナケレバナラヌヤウナコトニナルカモ
 知レヌ、斯クノ如キ政策ノ内地ノ産業、内地ノ經濟或ハ國民生活ニ及ス影響ト云フモノハ頗ル大ナルモノ
 ガアルト云フコトヲ考ヘテ置カナケレバナラヌト思フ、從ツテ此ノ企業ノ擴充ノ程度及ビ其ノ時期、五ヶ
 年計畫、六ヶ年計畫ト云フヤウナモノモ、唯一時ノ要決ニ依ツテ是ハヤルベキモノデナイト云フコトヲ私
 ハ信ズル者デアリマス、併ナガラ是ハ先程議員ノ皆サンカラ御論究ガアリマシタヤウニ、先ヅ此ノ目標ヲ
 如何ナル程度ニスルカト云フコトハ、或ハ國防の見地カラデアルトカ、或ハ經濟的確乎タル見地カラデア
 ルトカ、此ノ目標ヲ決メルト云フコトデナケレバ案ノ立テヤウハナイト思ヒマス、是ハ無論何トカ適當ナ
 目標ヲ定メテ戴カナケレバ審議ヲスルコトハ甚ダ困難デヤナイカト思フ、ソレカラ此ノ案ノ説明ニモアリ
 マス通りニ内地ヲ一貫シタ見地カラ研究スル必要ガアルト云フコトヲ説明サレテ居リマスガ、是ハ誠ニ
 御尤ナ點デアリマシテ、私等ノ専門トシテ居ル石炭ノ如キニ付テモ、皆サン御承知ノ通り先年來内地ノ生

産能力が過剰ニナツテ剩餘ガアツテ、ソレヲ差控ヘテ居ル場合ニ尙滿洲カラ輸入ガアツタト云フヤウナコトデ、少カラヌ面倒ナ問題ヲ起シタコトモアリマシタガ、今日ハドウデアアルカト申シマス、内外地ヲ合セテ供給力デモ前途ノ需要ニ對シテハ中々應ジ惡イト云フヤウナ有様ニアリマス、併ナガラ之ヲ今後計畫ヲ立テ、相當擴充ヲ致シマシタ場合ニ、萬一又先年ノヤウニ剩餘ヲ生ズルヤウニナツタナラバ、是ハ如何ニスルカ、内地ダケハ調節ヲシテ外地或ハ滿洲カラハ自由ニ入ツテ來ルト云フヤウナコトガアツテハ、内地ノ勘定ハ成立シナイ、之ヲ如何ニスルカト云フヤウナコトモ今日カラ決メテ置カナケレバナラヌコトト思フ、是レ等モ此ノ諮問案ヲ決定スル場合ニハ必要ナコト、思フ、サウ云フ事柄ニ付テモ出來得ル限リ……是ハ獨リコチラダケ決定ノ出來ナイヤウナ事情モアラウト思ヒマスカラ、豫メサウ云フ必要ノアルト云フコトヲ御承知願フテ御心配ヲ願フテ置カナケレバナラヌト思フデアリマス、簡單デアリマスケレドモ、ソレダケチヨット申上ゲテ置キマス

四八

○八番(鮎川議員)

私ノ御指名ハ多分重工業關係ニ從事シテ居リマスコトカラアツタコト、想像致シマシテ者ヲ申上ゲマス、今日ノ問題ニナツテ居リマスル一番重要點ハ國防關係ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ國防關係ト云フコトノ第一義ト申シマスルモノハ矢張り重工業關係デ、是ガ一番直接關係ダト思ハレマス、所ガ此ノ國防關係ト經濟問題、此ノ二ツノコトヲ靜カニ考ヘテ見マスルト云フト、且ツ世人ノ考ヲ以テ致シマスト云フト、國防ト經濟ト云フモノハ二ツノヤウニチヨット考ヘマス、何ダカ無駄ナコトヲシテ

居ル、モウ少シ經濟上引合フモノガアルノニ、ソレヲ差シ措イテ鐵砲ナド造ツテ要ラヌコトヲスル、斯ク云フヤウナ考ガドヨカニ潛ンデ居リシナイカト思ヒマス、所ガ非常時局ニナツテ來マシテ今日ノヤウナコトニナルト、ソレニ對シテ誰モ……宜クハナイコトデアリマスガ、此ノ數ヶ月前途ハ、世人ノ考ト云フモノト此ノ非常時ヲ見透シテ考ヘタコトハ非常ナ懸隔ガアルト思フ、私ハ此ノ日本ノ經濟問題ト云フモノハ、從來御一新ノ際カラ過去數回ノ大戦ヲ經テ、色々ナ時局ニ國ヲ擧ゲテ非常ナ決心ヲ以テヤツタコトハ、國防上ノ見地カラ出テ居ツタデアリマシテ、根本ハ總テ國防ト云フ方カラ出テ居リマスガ、併シナガラ後カラ板返ツテ見ルト、ソレガ詰リ經濟問題デアツタコトニ氣ガ付タノデアリマス、今日言ハレテ居ルコトモソレヲ繰返スノデハナイカト云フ感シガ致シマス、只今松本サシノ御話ノ中ニ石炭ノ消費ガ急激ニ殖ニタト云フヤウナ御話、或ハ相當減ツタ場合ト云フヤウナ御話、ソレニ對スル對策ヲドウスルカト云フコトヲ考ヘル必要ガアルト云フコトヲ申サレマシタガ、私ハ是ハサウ云フコトヲ考ヘル邊ハナイ時デアル、サウ云フ場合ガアレバ自ら過去ヲ顧ルト云フト皆都合好ク始末ガ付イテ居ルンデ、ソレヲキツタ時ニハ殆ドサウ云フコトヲ考ヘナイデヤツタノデアリマス、今日世界各國ノ情勢ト云フモノハ翌日モ判ラヌヤウナ情勢デアツテ、サウシテオ互ノ關係ヲ考察シテ見テモ、今日ノ「ブラズ」ガ明日ハ「マイナス」ニナルト云フヤウナ場合ニ於テハ、豫メ對策ヲ講ズルト云フヤウナコトハ不可能カト思フデアリマス、尋常ニ様ノ我々ノ知識ノ程度デハ出來ナイ、唯大雜把ニ此ノ國防ノ見地カラキツタコトハ必ズ經濟ニ一致スル

四九

モノデアル、詰リ國防ト經濟ガ一如デアルト云フ觀念ヲ以テ進ム以外ニ方法ハナイト思フ、ソコデ私ハ此ノ國防問題ニ付テ考ヘマスルト云フト、今日現ニ論ゼラレテ居リマス所ノ重工業ノ促進方ガ、今日ノ現在ノ情勢ニ於テモ非常ニ窮屈ニナツテ居リマス、最近迄ハ勿論材料問題ニ於テ非常ニ苦シデ居リマス、ソレカラ又之ヲ生産スル上ニ於テノ設備ガ從來ノモノデハイカスト云フコトニナツテ、其ノ設備ノ應急ノ擴充ト云フモノハ殆ド全部海外ニ依存シナケレバナラヌヤウナ情勢デアアル、例ヘテ見レバ「マシントン・トウール」ノ如キ先般來問題ニナリマシタガ、其ノ中ノ大キナモノデアアル、是ヲ今日ノ重工業ノ方面カラ考ヘテ見マス、殆ド全部ヲ國外カラ輸入シナケレバナラヌノデ、我々ノ手許デ之ヲシツラヘルト云フコトハ殆ド不可能デアアル、併ナガラ國防上ノ見地カラ全面的ニ必ズシモ見ラレルコトデナカラウト思ヒマスガ、何カ一朝有事ノ際ニハ非常ニ消費ガ急激ニ起ルモノデアアル、我々ガ今日生産ニ従事シテ居ルヤウナ程度ノ生産ノ何十倍何百倍ト云フモノヲ一度ニ消費スルニ違ヒナイト云フコトヲ考ヘマスガ、所謂國防ト云フモノヲ考ヘル場合ニ其ノ消費ト云フモノハ何十倍何百倍ト云フモノガ急激ニ起ルモノデアアリマシテ、ソレガ急激ニ來タ時ニ應ズル爲ニハ、我々ハ平素カラソレニ對スル豫備ノ施設ヲシ、且人間ノ訓練ト云フモノヲ豫備的ニシテ置カナケレバ國防ニハナラヌト思フ、今日唯普通ノ經濟問題カラ考ヘテ、將來所謂需給關係ガ破ラレルダラウト云フヤウナ考デハ、今後ノ戰爭ニ向ツテ何ノ役ニモ立タヌト思フ、デアリマスルカラシテ、ソレニ對應スルニハドウスレバ宜イカト云フコトニナリマス、茲デ十二分ノ生産設備ヲシテ置イ

テソレガ何時デモソレダケク需要ニ應ゼラレルヤウニ人ノ訓練ヲ要スル、ソレハ平生カラ消費材ヲ貯ヘテ置ク譯ニハイカクモ、是ハ軍備ニシテモ始終「ダツチ」シテ居ルモノデアリマスカラ、ソレダケケノモノヲ藏ニ入レテ廢ラシテ置ク事云フ譯ニハ行カヌケレドモ、一朝事ガ起リ需要ガ急ニ起リマシタ場合ニ、ソレヲ最早「ズビ」トテ調達シナケレバナラヌ、其ノ時ニハ我々ガ從來考ヘタヤウニ熱練工ト云フヤウナモノデヤツタツテ殆ド追付カナイ、女デモ子供デモ直グ其處ヘ持ツテ行ケバ間ニ合フト云フヤウナ方法ニ平素カラ仕掛ヲシテ置カナケレバ所謂國防ト云フコトヲ論ズル譯ニ行カヌト思フ、是ガ從來我々ノ經驗シタ所トハ非常ニ遠マ状態デアリマス、例ヘバ是ヲ「ソ」ノ自動車工業ヲ以テ考ヘルト非常ニ能ク判ルト思フ、先般來各大臣ヲ私ニ關係シテ居リマス自動車工場ニ御案内シタ意味モソコニテツタノデ、ヤリ方モ從來「ヤリ方」ト變ヘ、考ヘ方モ從來考ヘ方ヲズツカシ變ヘテ、新シイ要求ニ急激ニ應ゼラレルヤウニ平素カラ訓練ヲシナケレバナラヌ、此ノ訓練ガ非常ニ大事ダト思フ、我々ガ今日迄ヤリシタコトヲ其ノ儘ヤツテ行ツテモ生産擴充ガ可能性ガアルカ、ドノ位ノ「キアバシテイ」ガ存在シテ居ルカト云フト、ナイト云ツテモ宜カラウ、重工業ニ關スル限リ、外ノ方面ハ別デアリマスガ、非常ニ必要ヲ痛感シテ居ル所ノ重工業ニ於テハ日夜奔走ニ疲レル状態ニ於テ生産ニ従事シテ居リマスガ、此ノ上尙ドシテ途ヲ取ツタ所デ仲々其ノ生産ヲ倍加スルト云フヤウナ方法ハナイノデアリマス、是ニハドウシテモ新シイ施設ヲヤリ替ヘテ殖シテ行クヨリ外ナイガ、ソレニハドウシテモ不熟練ナ職工デモ二三ヶ月經テバ必ズソレダケノ品物ガシツラヘラ

レルト云フヤウナ情勢ニ本素訓練シテ置カナケレバ、ドウシテモ今日ノ國防上ノ見地カラヤルコトトハ合致シテイ、是ハ我々方從來經驗シタコトノチ事實デアリマシテ、歐洲大戰ニ於テ各國ハサウ云フ自三遺ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ自三遺ツタコトハナイガ、人カラ話ハ聞イタコトガアリマスガ、自分等ノ手ニ掛ゲテヤウテ來タ經驗ガチイカラ、ドウシテモ今後ノ戰爭ニ對應スルニハ、サウ云フ風テ考テ、以テ、今迄ノ舊套ヲ丸キリ脱キ棄テ、新シク考ヘテ行カザレバナラズ、サウシテモ、ソレニハ經濟上、財政上ノ問題カラソユニ、チニククニサレル問題モ自然出テ來ルト思フ、尙ソレニ類似シタヤウナコトガ相當アリヤジチイカト思ヒマスガ、重工業ニ關スル限リハ、サウ云フ非常ニ困難ナ問題ガ横ハツテ居リマシテ、現在ニ於テハ殆ド手ニ杯ニキリテ居ルノデアリマス、殊ニ問題ハ何處ニナルカト申シマスド云フ、最近迄ハ材料ガ足ラズトガ鐵ヲ足ラズトカ色々ナコトニ備マシタガ、昨今ニ於テハ人ノ手ヲ足ラナイト云フコトニテチテ參リマシタ、人的要素ヲ缺如シテ居ル、今迄ノ方法ナリ今迄ノ施設ヲヨリ以上擴充シテ行クト云フ場合ニハ人的要素、詰リ人間ノ適當ノモノガナイ、斯ウ云フコトガ重工業ノ範圍ニ於テハ言ヘルノデアリマス、ソレ我々方今日軍部カラ駐交ヲ受ケテ居リマスヤウチ方面、及ビソレニ關係シテ居ルモノニ我々方從事シテ居リマスル程度デモ、既ニ人間ガ行詰ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、其ノ人間ハドウシテモ若イ人ナリ女デモ何デモモレルキウニスル、殆ド劃期的ノ問題ガ横ハツテ居ルト云フコ

トラ申上ゲタイ、サウスルト云フ、ドウシテモ國防上ノ見地カラ申シマス、サウ云フ風ナ訓練ヲ英ルト云フコトト、モウニツ生産ノ設備ト云フモノハ相當餘裕ヲ持ツテ居ラナケレバ、是カラ經濟上困ルト云フヤウチ考ヘ方行クト云フ、サウ云フ場面ニ行ツタ場合ニハ直グチチ其ノモノガ足りナクナル、ヤテ統制事業デ考ヘテ見マス、此ノ問題ガ急ニ足りナクナリテ、最近デハ鐵ノ値段ガ二倍モ三倍モスルヤウニナリタ、六ヶ月前ニ比ベルト三倍以上モスルト云フヤウチ奇現象ヲ呈スルト云フ、皆其ノ設備ガ少イカラデアルト思フ、我々亞米利加ハ色々チモノヲ註文致シマスガ、尙フハ設備ガ潤澤ニアルヤウデアリマシテ、ヤア品物ガ少イト云ヒナガラモドウニカスルト言ウテ品物ガ出テ來ル、高イ高イト言ヒツ、モ安イ物ヲ掘出ス場合モアルノデアリマスガ、日本ハ如何ニモ窮乏チテリマス、重工業ニ關スル限リハ、ソレ從來ノ重工業ノヤリ方ト消費ノ件ツタ今日、之ヲドモスレバ宜イガト云フ考ヲ基礎トシテ、所謂國防ニ關シテ云フヤウナ問題ヲ科學的、機械的ノ手段ニ移シテ考ヘテ見マス、ソユニ從來非常ニ缺陷ガアルト云フコトヲ痛感致シマシテ、我々今日夜苦心シテ居ルノデアリマス、實ニ此ノ人間ノ問題ト云フモノハ窮乏チアリマシテ、例ハバ茲ニソレヲ使用スル必要ガ起リマシタ場合、設備ノ方ハ十分アルト致シマシテモ、ソレニ直グチチ從來ノ方法ニ於テ間ニ合フタケノ人間ニ、ニ體ドノ位採用シ得ルカト云フト餘程窮乏ト思フ、デアリマスカラサウ云フ風ナコトカラ云フ、自ラソユニ限度ガアツテ、幾ラ急ガレマシテモソレ以上ニ仕事ハ出來チイコトニナル、要スル三人ガ不足タト云フコトニチルカト思フノデアリマ

ス、勿論何デモ人字アル事云フ譯ニ行キマセヌガ、生産擴充問題ニ關シ將來戰爭ノコトヲ考ヘル場合
導於テハ下ウシテモ此ノ人ノ必要ヲ痛感スルノデアリマス、戰爭ガ始マレバ有ル職業ニ從事シテ居
ル者、若イ者ハ皆戰爭ニ出サケレバオラヌ其又時ニ小學校出ノ人デモ女デモ直グ間ニ合フヤウナ仕掛
シテ居ルコトガ非常ニ重大事デアルト思フ併シナガラソレハ直グト言ハレタシテモ直グ出来ヌシ、又急
激ニヤレバ外國ニ依存スル量多クナリ物價騰貴問題モ起ツテ來ルノデアリマスカラ、サウ云フ方面
研究ヲ出來ルダケ「ハ、イ、ス」ヲ願フテ戴キタラデアリキスガ、兎ニ角今日直グサマ色々ナコトガ
間ニ合ハスト云フコトヲ痛感スルノデアリマシテ、是ハ我々重工業ニ從事シテ居ル者ガ日夜考ヘテ居ル
デアリキスガ、ソコデ此處デハ色々ナ御議論ガ全面的ニアラウト思ヒマスカラ、結論シテ一番何ガ必要カト云
フコトニテリキスガ、入ノ問題ガ最後ノ問題ト思ヒマスカラ、此ノ際日本ガヤリ得ル一番大キイ「キヤ
バンテイ」ハ、限度ハ何カト云フコトヲ考ヘテ、入間ノ調査ヲシテ、其ノ中ニ下ウ云フ重工業ニ下レダ
ク向ケラレルカ、各ヲ生産設備ハ下レダケルカ、ソレニ對シテ下レダケノ吸收力ガアルカト云フコトヲ
御考ヘマサツテ戴カ、モウ是レ以上ノ問題ハナイ、入間ノ數ガ限リアル以上ハ誰モ彼モモヤラセル譯
ニ行キマセヌガ、今迄ノ方法ニ於テハ合フ程度ニ於テ間ニ合ハシテ居ルシテ、生産ノ問題ハ殆ド入
間問題デ生産ガ決ツテ來ルツデ、金サマアレバ必ズ出來ルト云フ問題デナイ、又材料サヘ持テバ必ズ出來
ルト云フ問題デモナイ、モウニツ通り越シテ入間問題ガ行詰ツタヤウナ状態ニアリマスカラ、其ノ問題ヲ

早く研究シテ戴イテ、ソレヲ最後ノ問題トシテ御討願ツタ方ガ安全デハナイカト思フ、ソレデナイト、
人間ハ幾ラデモアル、錢サヘアレバ、材料サヘ供給スレバヤレルト云フ考ヘ方デハ、重工業ニ關スル限リ
出來ルモノデナイト云フコトヲ申上ゲタイ、ソレカラハ別ノ問題デアリマスガ、後程申上ゲマス
〇二十三番(八田議員) 矢張り私モ御指名ノヤウデゴザイマシタカラ、政府御當局ノ御考ヘ等モ伺ヒタイ
コトヲ兼テ、私ノ氣ノ付キマシタコトヲ御參考ニ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ御諮問サレマシタ問題ハ、
結局先程御説明ノアリマシタ通り、之ニ對シテ根幹ノ政策如何ト云フコトト、然ラバ其ノ根幹ノ政策ニ基
キマシテ如何ナル具體の方策ヲ數字ニ決メテ行クカト云フコトニ歸著スルト思フノデアリマスガ、數字
的ニ必要トスル所ノ具體の方策ト云フモノニ付キマシテハ、何レ詳シク資料ニ付テ御研究ニ相成ルコト、
存ズルノデアリマスガ、此ノ根幹ノ政策ト云フ問題ニ付キマシテ一二氣ノ付イタコトヲ申上ゲタイト存ズ
ルノデアリマス、今日政府ニ於カレマシテハ、此ノ經濟「ブロック」ト云フヤウナコトニ對シテドノ程度ニ御
考ニナツテ居ラレルカ、ドコ迄モ或局限サレタル範圍ニ於テ必要ナル物資、資源ノ有無ヲ考ヘルノデア
ルカ、或ハモット稍廣イ範圍ニ於テ、平生ニ於テモ或ハ戰爭ノ場合ニ於テモ考ヘルノデアルカ、此ノ大キ
ナ原則ト申シマスカ、範圍ニ於テ御考ヲ何ヘマシレバ誠ニ仕合セダト思フノデアリマス、其ノ原則如何ニ
依リマシテハ、自ら此ノ根幹タル政策ガ違ツテ來ルト考ヘマスルノミナラズ、又數字的ノ具體の方策モ違ツ
テ來ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、之ヲマア伺ヒタイト存ズルノデアリマスガ、又別ノ方ノ見方

カラ致シマシテ、先程藤原サンカラ御話ノアリマシタ極メテ應急ナル對策、又將來長イ所ノ恆久策ト云フ
コトヲ御述ベニナリマシタガ、私共モ左様ニ考ヘルノデアリマス、極ク長イ目カラ見マスレバ、本當ノ恆
久策ト云フモノハ現在ノ日本ノ立場デナク、將來子孫ノ爲ニ帝國ノ永久ナル存在、永久ニ子孫ガ困ツテ行
カナイ爲ニ必要ナ策ガ、即チ本當ノ長イ意味ニ於ケル所ノ恆久策アルト考ヘルノデアリマスガ、其ノ應
急策ト長イ意味ニ於ケル恆久策トノ間ニ、又之ヲ分類シテ見マスルトナラニモ付カナイ所ノ中間策ガ多
多現レテ來ルト思ヒマス、之等ニ付キマシテモドノ程度ニ考ヘルカ、マア此ノ問題ハ差當リノ眼ノ邊リニ於
ケル所ノ準戰時、若クハ應ガテ戰争ノ其ノ經濟體勢ニ於テ考ヘル所ノ方策アルカドウカト云フヤウナコ
トモ、議論ヲシテ參リマスル間ニソレガ自ラ判ツテ來ルンデヤナイカ、大體ニ於テ斯ウ云フ點ヲ先ヅ大體範
圍ヲ想見スルト申シマスカ、進メテ問題ヲ考究致シマセヌト、私ハ仲々此ノ問題ハ結論ニ達シ難イト考
ルノデアリマス、假ニ結論ニ達シマシテモ、從來眞人ニ論セラレテ居ル所ノ論說トナツテ現レ、又既ニ
出版セラレタモノモ多クアルンデヤナイカト考ヘルノデアリマス、斯様ナコトヲ簡單ニ申セバ、政府當局
ノ此ノ事項ニ對シマスル御意向ガ奈邊ニアルカト云フコトヲ、機會ガアレバ本日若クハ他ノ機會ニ御伺ヒ
致シタイノデアリマス、私ガ先般南洋方面或ハ濠洲方面ヲ歩イテ見マシタ時ニ感ジマシタコトカラ考ヘマ
スト、ドウモ仲々將來ノ子孫ノ爲ヲ考ヘマスナラバ、ドウシマシテモ廣ク問題ヲ考ヘナケレバナラヌト痛
切ニ感ジタノデアリマス、是ハ外交トカ色々ナ問題ニ關係シマスカラ、我々ノヤウナ素人ハ何トモ申上テ

ルコトハ出來ナイノデアリマスガ、極ク狭イ範圍ヲ考ヘマシテモ、内外地ト云フコトデハナク、外地ノ外
ニ接シタ所ノ海外地ト申シマスカ、其ノ周圍ニ存在シテ居ル所々ケハ少クトモ考ヘテケレバ、此ノ問題
ハ考ヘラレナイノデハナイカト存ズルノデアリマス、滿洲ハ無論ノコトデアリマス、就キマシテハ今日ニ
番：私ノ狭イ範圍カラ感ジタコトヲ申上ゲルノデ或ハ間違ツテ居ルカ知リマセヌガ、從來長イ間組織立
ツタ、サウシテ稍平時狀態ヲ進ンデ來マシタ、此ノ産業ノ形態ト申シマスカ、最近過去數年前カラ將來
ニ向ツテ非常ニ飛躍ヲナサムトスル時ニ當リマシテ、果シテ現狀ノ儘此處ニ在ルモノヲ在ルトスルダケデ
宜イノデアアルカドウカ、輕イ物ナラバ座布團ノ上ニ乗ツテモグラ／＼致シマセヌガ、少シ大キナ物ヲ座布
團ノ上ニ乗セマシレバ、其ノ上ノ物ハグラ／＼スル虞ガアルト思ヒマス、先ヅ「フアウンデーション」カラ
シツカリ掛カラナゲレバナラヌト考ヘルノデアリマス、此ノ「フアウンデーション」ニ付テハ色々ナ「イデ
オロギー」トナツテ「致シテ居ル上思ヒマス、農村其ノ他地方ヲ歩イテ見マシテモ、是レ等ノ「イデオロギ
ー」ヲ知ルカ知ラヌカ判リマセヌガ、或ハ指導サレテ居ルカ居ラヌカ判リマセヌガ、事實我々ノ眼ノ前ニ
感ゼラレルノデアリマス、從ツテ斯ク云フ點ニ付テ之ヲ如何ニ調節シテ行クカ、落著ケテ行クカ、是ガ、
非常ニ大切ナト考ヘマスノデ、經濟問題ヲ考ヘマスルニ付キマシテハ、是レ等ニ付テモ政府ノ御考ヲ伺ヒ
ダイノデアリマス、即チ日本帝國ノ古來カラノ「フアウンデーション」ト云フモノハ絕對微動タモシナイ譯デ
アリマスガ、其ノ上ニ加ヘマシタ所ノ或ルモノハマダ落著イテ居ラナイ、「フアウンデーション」ノ上ニビツ

タリ合ツテ居ナイ、浮上ツタヤウニ、物ノ上ニマダ基礎ヲ落著ケルコトガシテナイ時ニ、或ハ其ノ方法如何ト云フコトガハツキリシマセヌ中ニ、經濟建設ノ目標ガ如何ナル所ニアルカト云フコトニ付キマシテ、若シ政府當局ノ方カラ御列席ノ議員諸君カラ如何ニ御考ニナツテ居リマスカト云フコトヲ伺フコトガ出来マスレバ、此ノ問題ヲハツキリ決定スルニ非常ニ有效デナイカト考ヘルノデアリマス、日本ノ將來ハ恐ラク人口問題ダト考ヘルノデアリマスガ、若シ廣イ所ニ資源ヲ得テ、サウシテドシク生産ヲシテ行キマスレバ如何ニ人口ガ増シマシテモ差支ヘナイト感ズルノデアリマスガ、若シ不幸ニシテ外ノ方ガ、ゴブメント申シマスカ、物資ノ上ニ有無相通ズルコトガ出来ナクナリマスレバ生活ヲ許サナイ、外ニ出テ行カナケレバナラヌコトガ生ズルノデアリマシテ、是レ亦大キナ問題ニナルト思ヒマスガ、少クトモ現狀ダケ考ヘマシテ、是ハ氣持ヲ申上ゲルノデ數字ハ持ツテ居リマセヌガ、例ヘバ拓殖會社……此處ニモ御關係ノ方モイラツシキイマスガ、東洋拓殖アリ、南洋拓殖アリ、臺灣拓殖アリ、サウ云フヤウニ政府ニ依ツテ設立サレマシタ所ノ會社ハ、何レモ或方面或ハ場合ニ依リマスド、重複シタ方面ニ於テ産業ヲ開發スルト申シマスカ、日本ノ將來ノ發展ノ爲ニ、内ニ於テハ生活安定ヲスルガ爲ニ、進ンデ何か仕事ヲサレムトシツ、アルノデアリマス、是レ等ガ若シ不幸ニシテ相重複シマスルカ、或ハ先程皆サンカラ御話ガアツタヤウニ、要ラス物ハ成可ク造ラヌヤウニシヨウデヤナイカ、要ル物ダケハ金ヲ掛ケテモ、是ニ集中シテヤルベキデアルト云フ御話ガアリマシタガ、是レ等ノ仕事ノ上ニ於キマシテ、動モスレバ「ダブル」廣ガアル

ノデハナイカ、或ハ要ラナイカラト云ツテ、ヤラナイデ居ラナイヤウナ、國ノ存立上カラハチヨット要ラナイ物デモ、外デ以テ將來相當ニ之ヲ求メルト云フヤウナ物ガ、他ノ政策カラ必要デアルト云フコトガアリ得ルノデアリマスカラ、是レ等ニ付キマシテ私ハ出来得ルナラバ内外ヲ打ツテ一丸トシタヤウナ物ガ出来マスレバ非常ニ宜インデハナイカ、サウシマスレバ内ニ於テハ少クトモ皆サンノ年來御ヤリニナツテ居リマスル重要工業其ノ他ニ於テ、大キナ資本、立派ナ計畫デヤツテオイデニナリマスモノモ望ミガスルト思ヒマス、「コンクリート」デ家ヲ建テマスル場合、砂利ガ集ツテ「ファイブ・テイ・パーセント」ノ「ストレート」ハ出来マスケレドモ、尙「ファイブ・テイ・パーセント」ノ「セメント」ガ入ツテ「コンクリート」ノ仕事ガ出来ルノデアリマス、在來ノ仕事ニハ幾ラカ「ヴォイド」ガアル、ソレハ一人ノ仕事デハ經濟的ニ生産ガ出来スト云フコトモアリマセウガ、此ノ「ヴォイド」ヲ繋ギ合セテ考ヘマスレバ、可ナリ大キタ殘サレタ日本内地ノ資源ガ開發サレルト思ヒマス、是ハドウシテモ政府ノ統制或ハ政府ニ援助、國民人總テノ援助ニ依ツテ是ガ經濟的ニ成立ツヤウニシナケレバナラヌ、成立テバ今日輸入ニ仰イデ居ルヤウナモノガ生レ出テ、先程御話ノヤウニ「モダン」ノ數量ヲ増シマシテ、所謂生産擴充ガ出来ル、政府ノ定メマシタ三原則ノ方向ニ向ツテ大イニ振興ガ出来ルノデハナイカト感ズルノデアリマス、即チ内外ヲ打ツテ考ヘマスト、私ハ別々ニ内ハ内、外ハ外ト色々ナ方向ニ向ツテ「ベスト」ヲ以テ盡サレルヨリモ宜イデハナイカ、サウシナケレバ此ノ三原則モ不公平ナモノガ起リ得ルト思フ、私ハ左様ナコトヲ主張シタイノデアリマス、詳シクハ申

上ケル時間ハアリマセスガ、唯サウ云フ氣持ヲ持ツテ居ルノデアリマス。又モウ一ツ希望致シタイコトハ
内外ヲ通ジテ色々産業ヲ擴充シテ參リマス上ニ於テ、今日矢張り即座ニ考ヘテラマスノハ私ハ研究機關
ヲト考ヘルフデアリマス。即チ立派ナ地歩ヲ以テ立派ナ指導ヲサレテ居ル所ノソレハ、立派ナ研究機關ガ
アリマシテソレハ、以テ方向ニ向ツテ研究セラレテ居ル、又「ラボラトリー」ニ於テ學者トシテ學者ヲシテ研
究サレテ居ル本モ澤山アリマスガ、生産擴充ト云フ研究題目ニ向ツテ之ヲ總動員シテ居ルト云フヤウナ施
設ハナイヤウニ考ヘル、無論皆サシハ考ヘテ居リマスガ、一ツ思ヒ切ツテソレハ、研究機關其
ノ儘デ結構ナシテアリマスガ、其ノ智慧ヲ推リ上ダテ、定メラレタル方向ニ向ツテ最モ力ヲ入レルト云フ
コトガ必要デアルト存ジマス。之ニ一段ノ力ヲソコニ御入レニナルコトヲ私ハ希望シテ已ニ申シテアリマ
ス。即チ先程申シタヤウニ重要工業總テ大キナ動力ヲ使ツテ、日進月歩ノ科學ノ一番尖端ヲ利用シテ、茲
ニ初メテ能率化シテ、又資本モ比較的ニ要ラナイ、重複スルコトナク、最モ合理的ナ仕事ガヤリ得ルノデハ
サイカ、是ニ人ノ問題ハ勿論人デアルト思ヒマスガ、同時ニ此ノ方ノ研究セラレテ居リマスルモノヲ技
術總動員シテ利用スルト云フコトニ、一段ノ力ヲ入レルト云フコトガ、又之ト相立ンデ必要ナ條件ダト思
ヒマス。私ハ大體其ノ位ノコトヲ申上ダゲマシテ御參考ニ供シタイデアリマス。

○井野幹事長 只今八田議員ノ御意見ニ於テ御質問ノ點モアリマシタカラ一應御答ヘ申シマス。コソ
ロクニ經濟ト申シマスガ、帝國經濟ノ範圍ヲ廣ク解スルカハ狹ク解スルカト云フ御事デアリマスガ、我

六〇

我ノ計畫的ノ經濟政策トシマシテハ相當ニ廣範圍ニ經濟圈ヲ考ヘタイト思ツテ居リマス。ソレカヨリ綜合的
經濟計畫ヲ樹テマスル目標ニ付キマシテ、色々八田議員カラ御事デアリマシタガ、是ハ無論ガ企業體ト
シマシテ色々研究ノ過程ニゴザイマスカラ、一應ノ考ヘ方ヲ申上ダゲマシテ御參考ニ供シ、且又此ノ會議
ノ經過ニ從ヒマシテ、皆サンノ御意見モ伺ヒタイト思ヒマスガ、一應ノ考ヘ方ハ大體既ノ産業經濟政策
ヲ……綜合的ノ經濟政策ヲ樹テマスル目標トシテハ、軍需資材ノ必要量ノ確保、所謂國防産業、ソ
レト國民生活必需品ノ供給ノ確保、ソレカラ國際收支ノ根本的改善ニ必要ナ産業、此ノ三ツヲ大體産業ト
シテノ目標トシマシテ、其ノ品目等ニ付キマシテモ私ノ方デ色々調査ヲ致シテ居リマシテ、段々品目等
ニ付テモ御相談申上ダゲ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマスガ、其ノ程度ヲ如何ナル程度ニ置タベキカ
ト云フコトニ付キマシテハ、先程來皆サンノ御話ノアリマシタヤウニ、大體準備時經濟狀態ヲ目標ニ致シ
マシテ、サウシテ進シテ行ツタラ如何カト、斯ウ云フコトニ大體ノ目標ヲ置イテ居リマス、是レ等ハ又色
色ト御研究ヲ願ヒマシテ、十分我々ノ計畫樹立ノ參考ニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○四番(津島議員) 段々時刻モ經チマシタヤウデアリマスカラ、私ハ簡單ニ所見ヲ一言申上ダゲ置キマ
ス、先程カラ色々御話ヲ承リマシテ、國際貸借ノ改善、收支ノ適合ト云フコトガ、非常ニ此ノ會下シテハ
重大問題デアルト云フコトデ、私モ非常ニ其ノ點ニ付テハ同感スル一人デアリマス、ソコデ此ノ會議ニ於
テ基本實施案ヲ御作リニナル場合ニ於テハ、必ズ資金ノ計畫ヲ具體的ニ御決メニナル必要ガアルト思ヒ

六一

マス、資金ト申シマシテモ内地ノ品物ヲ内地デアリマシテ、是ハ内地關係拂ヒデアリマシテ、此ノ調達如何ト云フコトハ内地金融ニ歸スル問題デアリマスガ、此ノ計畫ヲ實行スル場合ニハ、苟クモ對外拂ヲ必要トスルモノニ付キマシテ、直接國際收支ノ問題ニブツツカツテ來ルノデアリマシテ、此ノ計畫ノ資金問題ハ、私ハ内地ノ資金ノ關係ヨリモ寧ロ對外支拂ノ關係ニ最モ重大ナ點ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、從ツテ具體案ヲ作ルニ當リマシテハ、此ノ案ヲ實行スルニハ國際收支ハドウナルデアラウ、之ニ改善ヲ加ヘタナラバ斯ウ云フ收支關係デ、何年間ニ互ル實行ノ可能性ハ對外的ニモ對内的ニモ立ツンデアルト云フヤウナ具體的計畫ヲ講ジナケレバ、内外的ニ安心ヲ得ラレナイと思フ、先程大藏男爵ノ資金關係ハドウナルカト云フ御質問ノ趣旨モ其ノ意味デアルト思ヒマス、尙藤原議員カラノ御質問ト御意見ノ中ニモアリマシタヤウニ、應急的ノ對策トシテ信用ヲ維持シ爲替ノ價值ヲ維持スルト云フ問題ハ、此ノ資金計畫ガ妥當性ヲ缺クヤ否ヤト云フコトニ依ツテ非常ニ重大ナ關係ガアルト思ヒマス、先般私ハ或外字新聞ヲ讀ミマシタ、内地新聞ノ受賣リダト思ヒマスガ、或新聞ニ出タヤウナ記事ガ出テ居ル、滿洲五ヶ年計畫ハ二十數億、内地ガ七十億、合セテ百億ノ資金ガナケレバ計畫ハ出來ヌト云フ記事ガアツタ、矢張り斯クノ如キ資金ガ出ルト云フ批評ガアツタ、恐ラク藤原サンアタリモ財政問題ナドニ付テ斯ウ云フ問題ニ付テ外國記者カラ質問ヲ受ケタコト、思ヒマス、此ノ資金計畫ハ斯ウデアルト云フコトヲ、事業ノ計畫ト相俟ツテ示シテヤレバ非常ニ安心スルノデアリマシテ、先程青木サンカラ滿洲五ヶ年計畫ニ付テハ不日其ノ内容ヲ御示

シ下サルト云フコトデアリマスガ、私ハ是非常ニ有難ク存ジテ居ルノデアリマシテ、同時ニ其ノ資金計畫ガ内地ニ於テハ斯ウヤルンダ、滿洲ニ於テハ斯ウヤルンダ、此ノ計畫ニ依ツテ資金ハドウ動クカラ、實際收支關係ニハ是ダケノ變更ガアルト云フコトガハツキリ致シマスレバ、今日マア率直ニ申シマスレバ、或新聞デハ二十數億ノ金ヲ五ヶ年計畫デ使フ、一年平均五億ノ金ガ要ルト云フコトヲ言ツテ居ルガ、是レ以上ノ金ヲ滿洲ヘ持ツテ行ツテハ大變ダト言ツテ居ル人ガアリマス、恐ラク内容ヲ見レバ今日迄ニモ三億ヤ四億ノ投資ヲ致シテ居ルデアリマセウ、ソレト需要關係ヲ見レバサウ大シテ新シイ資金ガ行ク譯デナイ、而モ此ノ資金ハドウ云フ關係デ出來ルデアラウ、日滿財政ノ關係ハドウデアルト云フコトガ判ツタナラバ不安ハナクナルト思ヒマス、是ハ憶測デアリマスカラ、其ノ内容ヲ見マシタ上デ意見ヲ申上ゲマスガ、私ハ此ノ御質問ノ内外地ニ關スル綜合的計畫ノ基本實施案ノ立案ニ當リマシテハ、資金ノ關係ニ於テハ對外拂ヒノ關係ヲ明瞭ニシテ、之ニ改善ヲ加ヘテ斯ウ云フ關係ニナルカラ、對外收支ガ斯ウ云フ風ニナルト云フコトヲ明カニスルコトガ最モ必要デヤナイカト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ、他日機會ガナイト思ヒマシタノデ時間ヲ拜借シテ、此ノ一點ヲ希望トシテ申上ゲタ次第デアリマス

○十九番(小林議員) 生産擴充ガ國家ノ大方針デアアル、之ニ依ツテ進マナケレバナラヌト云フ時ニ、ドウ云フ譯カ電力ト云フ問題ハ少シモ考ヘテ居ラレナイノデアリマス、凡ソ生産擴充ノ事業ヲ遂行スルニ先ツ第一ニ考フベキコトハ、資金ト同時ニ電力ヲドウスルカト云フコトニ重點ヲ置カナケレバナラナイト考ヘ

テ居リマスニモ拘ラズ、電力問題ハ何處カ吹飛シテ少シモ問題ニナラナイノデアリマス、是ハ實ハ電力會社ガテキ日本ニ於ケル重要産業ノ位置ヲ占メテ居ルモノハナク、ニモ拘ラズ餘リニ重キラ置カザテ居ラナイ、遞信省ノ五ヶ年計畫トシテハ彼は何百萬「キロ」ノ擴充ヲ必要トスルニモ拘ラズ、電力會社ハ果シテジレテ遂行シ得ル程儲カレモノデアルカドウカ、私共其ノ局ニ當ツテ居ル一人トシテ頗ル寒心ニ堪ヘナイコトヲ卒直ニ御話申上ゲテ、是モ亦廣義國防ノ一ツノ要素デアルカラ、今ノ中ニ何トカ考ヘ直サナクシテラヌト云フコトノ御同情ヲ得たいと思ツテ、極ク簡單ニ私ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲたいと思フノデアリマス、電力會社ガテキ貧乏會社ハアリヤセズ、ツイ最近遞信省當局ノ發表ニ依リテ、此ノ管内ニテハ大體ノ電燈、電力ト云フモノハ殆ド全國ノ半分ヲ占メテ居リマスガ、其ノ中デ八分以上ノ配當ラシテ會社ハ僅カニ箱根ノ富士屋「ホテル」ガ極ク近邊ノ宮ノ下ヲギツテ居ル爲ニ一割五分、甲州ノ宮川電燈ト云フ會社ガ三割二分、其ノ外一割以上配當シテ居ルモノハ、玉川電鐵トカ王子電鐵ト云フギツテ電車ヲ兼營シテ居ル會社ニハアリマスガ、電燈會社ハ八分以上配當シテ居ルモノハナイ、ノミナラズ其ノ大多數ハ五朱乃至無配當ノ會社ガ頗ル多クデアリマス、此ノ惡イ會社ガ將來非常ニ大キイ計畫ノ下ニ置カレテ働カナクシテラヌト云フコトヲ考ヘル時、其ノ前途ハ暗澹タルバカリデアリマス、御承知ノ通り大キイ會社ハ外債ノ重壓ヲ受ケテ居ル結果、爲替ガドウナルガ戦々然タル有様デ、此ノ上爲替ガ下ツタテラバ借金ノ利息サヘ拂フコトガ出来ナイ、御承知ノ如ク東京電燈ノ如キ只今一割二分ト云フヤツチ高利ノ利息ヲ拂ツテ居ル、是

六四

ハ契約デアリマス、亦モドウモルコトモ出来ナイ、返マストモ出来ナイ、今返セバ出来ルノデアリマスガ爲替管理テ五ヶ年間に出来ナイ、サオビテ社債ヲ募集セ得ルカト云フト、今日ハ募集セ得ルヤウナ状態デアカク、サオビテ電燈、電力ト云フモノハ一方ニ於テ僅クシテカキテ居ルモノト云フモノハ、命運立至ツテ居ルノデアリマス、而モ物價ハドンドン騰ツテ居ル、現ニツイ先達ヲ追テラバ、一萬「キロ」ニ至リテ出ル水力會社ハ、今日ハ四割餘騰ツテ三百三十圓位掛カレノモノ、サオビテヤウシドンドン騰ツテ行ク時ニ何等成算ガオイ爲メ、五大電力會社サヘモ彼是十倍以上ノ投資ヲテ居リ、全國デハ百億以上ノ投資ヲテ居ル電燈電力會社ト云フモノハ、今日ノ景氣ガ取殘サヒテ、大キイ負擔ヲシテ行カザレバオオズ、斯クテ如キ状態ニ於テ國家ハ大方結算ヲ遂行セ得ルヤ否ヤ、ドオビ博サシテ電力ヲ賣テ、行キテ云フコトガ廣義國防ノ大方針ニ伴フモノデアルト云フコトヲ以テ、慎重ニ御調査ヲマシムコトヲ願ヒマス、私ハ適當ノ機會ニ於テ具體案ヲ提出シたいと思ヒマス、今日ハ唯簡單ニ皮相ガル事上テテ置キマ

六五

○八番(結川議員) 先般ノ問題トハ少シモ關係ゴザイマセズガ、チヨット私ハ希望ヲ申上ダタテ、是ハ前結城藏相ノ時代ニ前總裁カラ承ツタデアリマスガ、今度ハ此ノ企畫廳ハ成可ク抽速ニ、サウシテ早急實行ヲ移スノガ眼目デアルト云フモノトゴザイマシガ、デ、ソレハ今度ノ總裁ニ相繼グサウ云フ風ニ御考ニナラテ居ラレドデヤナイカト思ヒマス、又サウゴナタテハ、斯ク云フ問題ハ聞ハ合ハヌコトニオスマ

スカラハ非常ニ遠大ナ問題ト極ク火急ヲ要スル問題トアリマセウカラハ從ツテ火急ヲ要スル問題ハ早ク之ヲ實行ニ移スヤウニ願ヒタイ、我々議員ニナツテ居リマスル者ハソレハ、専門家ニ屬シテ居リマスカラ、ソレレバソレトヲ申上ゲルコトハ多クアルト思ヒマス、併シソレヲ一々御聞キニナツテモ、ソレヲ全部消化シ得ルコトハ疑問デアリマスガ、其ノ中デ非常ニ急ヲ要スルモノハ成可ク急イデ早ク實行ニ移スヤウニ願ヒタイノデアリマス、ソレニ付テ遺憾ニ思ヒマスコトハ、企畫廳ノ機構ノ問題デアリマス、企畫廳ノ總裁ハ關係ガ兼任スルト云フ風ニ承ツテ居リマス、所ガ能ク考ヘテ見ルト、此ノ企畫廳ノ仕事ハ、我々ガ斯ウヤツテ呼バレテ居リマシテモ、日本デモ一番大事ナコトヲ考ヘラレテ畫策ヲサレル機構デアルト思ウテ居リマスカラ最高ノ機構デアル、我々ノ將來ノ子々孫々ノ問題ガ此處デ決メラレルト云フ重大ナ機關ダト思ヒマスガ、ソレヲヤテレル中心人物ガ兼任デアルト云フコトハ私ハ憂慮ニ堪ヘナイ、是ハ其ノ時ニモマア私ハ申上ゲタノデアリマスガ、ドウ云フモノカ大臣ガ兼任ト云フゴトニナツテ居ル、専門ノ總裁ト云フモノハナク、固ヨリ廣田サンモ其ノ器ノ方ハ申上ゲヌケレドモ、非常ニ忙シイコト、思フハ、此ノ企畫廳ハ所謂「ブレイントラスト」デアルカラ非常ニ能ク考ヘナケレバナラヌ、考ヘナケレバナラヌガ、併シ幾ラ頭ガ良クテモ時間ガチケレバイカヌト思ヒマス、近頃ノ情勢デハ尙御忙シイ、再三此ノ會議ニ引張テ出スノモ氣ヲ毒デアル、我々モ忙シイカラサウ度々足ヲ運ブ譯ニイカナク、ドウシテモ中心人物ガ之ニ専門的ニ打込ンデ戴イテ、サウシテ我々ノ申上ゲルコトヲ吸收スル能力ト關心ヲ持ツテ戴キタイ、ソレニ

ハ今ノ兼任ト云フヤウナ方法ガ誤ツテ居ル、是ハ専門ノ人ヲシナケレバナラヌト思フ、或ハ大臣ヲ以テヤラナケレバナラヌト云フナラバ、所謂兼任大臣デナク無任所大臣ト云フモノヲ置イテ戴ク必要モアリヤシナイカ、サウシテ我々ガ申上ゲルコトハ本當ニ受取ツテ戴イテ、其ノ中心人物ガ眞カラ我々ヲ追ツテ駈ケル位ニシテ戴カヌト、我々ノ方カラ援助ト云フヤウナ弱イコトデハ、此ノ問題ハ結局龍頭蛇尾ニ終リヤシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、ドウシテモ其ノ邊ヲ御考ニナツテ、此ノ機構ノコトカラ先ニヤツテ戴キタイ、サウシテ専門ノ方ガ出來ルト云フコトニナリマスト云フト我々モアツ突カリ易イノデアリマス、遠慮ナク申上ゲルコトモアルト思ヒマス、尙人柄ニ付テ申シマス、ドウシテモ「ブレイントラスト」デアリマスカラ、雜事ニ追ハレナイ人、殊ニ待合ナドニ入ルト云フヤウナ人ハイカヌ、ドウシテモ靜カニ物事ヲ考ヘル仙人メイトハ趣味ノアル、頭ガ良クテ朝カラ晩マデ二十四時精力ガ續イテ、我々ノ方ガ參ツテシマフヤウナ方ヲ据ヘテ置イテ戴カヌト、本當ノ「ブレイントラスト」ニハナラヌ、實ニ頼リナイモノ、法ナクト思ヒマス、實ハ皆サンノ仰シヤルコトヲ聞イテサウ云フ風ナコトヲ痛感シタノデアリマス、先ヅ此ノ方面カラヤツテ戴カナイト、段々終ヒ口ニナツテ送ラレテシマツテ一向有難味ガナイコトニナル、斯ウ云フコトニナリマスカラハ、何カ適當ニ此ノ企畫廳ヲ擴充シテ戴イテ、成可クソテラカラドウカノトヒツク印イテ戴イテ、サウシテ早速實行ニ移スト云フヤウニシナイト、實ハ斯ウ云フコトヲ何回ヤツテモ、知識ハ殖エマスガ、結局龍頭蛇尾ニ終ルト云フコトヲ私ハ痛感シマスカラハ、是非サウ云フ風ニシテ戴イテ、

我々紳士上層に於てハ通風ヲ以テ申上ダヤヌカラ、必ズ其ノコトヲ消化シテ戴イテ早達實行ニ移スト去ラコトノ出来ルヤタニ、内容ナリ機密ヲヤリ變ヘテ戴イテ、ナウシテ之ヲ擴充シテ期待ニ副ンヤウエシテ戴イタイト云クガ私ノ希望デアリヤヌ

○廣田閣議長 只今ノ御意見ハ誠ニ御尤ク其ノ通りデアルト思フデアリマス、御承知ノ通り外務大臣廣田云ク仕事ヲ繁ク居ルト云フコトガ願ルカレナコトダ、是れ全ク一時已ムヲ得ザル事情ノ爲ニ出テ居ルデアリヤシク、組織ノ變更等ニ付テモ私自身トシテモ相當考ヘテ居ルコトモアルデアリヤヌ、何レ能ク政府ノ方トモ相談シテ上テ決定シタイト思フヲ積リマス

○八善(船川議員) 早ク御願モ致シマス

○三十三善(津田議員) 此ノ中央經濟會議ノ主要ナル目的ハ内外地ヲ一貫シテノ政策如何ト云ク問題ヲ御諮詢ニナシテ居ルト考ヘルノデアリマス、誠ニ御尤ノコトデアリマスガ、此ノ内外地ヲ一貫シテト云フ旨業ハ如何様ニモ受取ルコトガ出来ルト思フデアリマス、内外地トモ共存共榮ノ途ヲ圖ルト云フ御考デアラウト考ヘマス、又一面ニ於キヤシクハ兎ニ角此ノ基本ハ内地ヲ基トシテ外地ヲ發展スルモノトシテ統制ヲ加ハムトスルノ度ガ多分ニアルノデアリマス、是レ能ク會議ニモ廣クナウ云フ願キヲ見タラザラマス、政府ニ於カレマシテハ斯様ニ決イ見地ニ於テ御考ニナウテ居ルトハ考ヘマセマスガ、此ノコトハ矢張り外地ヲ基トシテ、内地ハ外地ノ根ニスルト云フヤウニ第二義的ニ考ヘラレル意味ガ多分ニアルノミナラ

ズ、至素ニ於キヤシクモ政府ハ應々内ニ情スルヲ兼セガアリマスカラ、近イモソノ叫ビ聲ハ能ク耳ニ達ル、併レ遠方ノ入ノ言ヲ滲葉ハ能ク判リナシ、又其ノ事情ニモ暗イト云フ爲ニ、得テ其ノ施設ヲ誤ルヤノ虞ガアルヤウニ思フデアリマス、是レ等ノ點ニ付テハ最モ注意ヲ要スル點ヲカカラワカト考ヘテゾデアリマス、此ノ席上ニ於キヤシク委員間ニ於テ討論ヲスルト云フコトハ確ニベキコトデアルト考ヘマス、ケレトモ、兎野野口議員ノ御説ヲ伺フテ積リマス云フコト、稍々申述バタ點ニ流レテ居ルリゾシナコト云フコトヲ覆セルナラマス、野口議員ハ朝鮮ニ於テハ極メテ重要ヲ産業人トシテ重キヲナシテ居ル方デアル、萬ニ應分妥アルヤウヲ考テ特ツテ居ルト致シマス、彼ニ同氏ノ御説ヲ得テ置クコトガ必要カト考ヘマス、チヨット私ノ考ヲ申上ダテ見タイト思フノデアリマス、野口議員ノ御説ヲ中ニナラマシムハ、有り餘クテ居ル物ヲ朝鮮ニ特ツテ行フコトハ矢張りニ重投資ニナルト云フ御考デアリマス、無用ノコトヲ避ケテ最モ有用ノコトニ、モット一有用ナ方面ニ資金ヲ向ケルベキデアルト云フ御意見デアリマス、御尤ノ御意見デアリマス、何等異議ヲ挾ムベキ餘地ハナインデアリマスガ、例ハハ粉積ヲ知キ内地ニ有り餘クテ居ル、ヒモ拘ラズ段々朝鮮方面へ進出シテ來ルト云フコトヲ申述ベラレゾデアリマス、是ハ軍門ヲ導給デアリマス、少シトモ、一ウノ事例トシテ物ノ考ヘ方ト云フモノニ付テ御考ト申上ダルコトヲ御諒承願ヒタインデアリマス、或程粉積モ今日我國ノ粉積ハ千二百萬圓ニ達シテ居リマス、糖業短縮ヲヤウテ居ルンデザリマス、糖業過剩ヲアルト御考ニナルコトハ誠ニ御尤ノ次第ナラデアリマス

ス併シナガラ我國紡績ハ十年毎ニ倍加シテ來マス、今年千二百萬鐘デアリマス、十年前以前於テハ六百萬鐘デアツタ、其ノ前々十年前以前ハ三百萬鐘デアツタ、又其ノ前々十年前以前ハ百五十萬鐘デアツタ、極メテ明確ニ十年毎ヲ以ツテ倍加シテ參ツテ居ルデアリマス、而モ其ノ間操業短縮ヲ以ツテ居ナイ年ハナイト申シテモ宜イデアリマス、大低因ルハト云ツテハ三割乃至三割、少クモ一割位ニ操業短縮ヲ以ツテ續ケテヤツテ參ツテ居ルデアリマス、ソレ程餘ルモノナラバ殖ニ宜イ譯デアリマス、而モ相當ニ成績ヲ擧ゲ十年ヲ以テ倍加シテ居ルデアリマス、斯カル事情ヲ御覽ニナツテモ、操業短縮ヲヤツテ居ルカラ餘ツテ居ルト云フヤウニ御考ニナルコトハ大變ニ間違テアルコトヲ御諒承願ヒタイ、殊ニ昨年ノ如キ殖ニ困ルト云フノ新鐘ノ制限ヲ致シシタガ、其ノ新鐘制限ハ驚ク勿レ一年二百萬鐘ヲ超エテ居ルハ、五十萬鐘以上ソレモ五分デアルト云ツテ居リマス、モ少シ設備ノ少キニハ二割以上制限シテ居ル、詰リ新鐘ハ絕對ニ防止スルコトヲ契約デアリマスガ、尙年々一割ハ殖ニテ居ルデアリマス、内地ノ紡績ノ鐘數ノ増加シテ行キマスル數ハ今後トモ百二十萬鐘位デアラウニ思フノデアリマス、滿洲ニ於キマシテハ十五萬鐘デアリマスガ、此ノ兩三年擴充ガ行ハレ三十萬鐘位ニナツテ居リマス、總ガテ五十萬鐘ニモナルデアリマセウ、朝鮮ハ十二三萬鐘デアリマシタガ、最近段々殖ニテ十五萬鐘ニナツテ居ルハ、工場ノ數ハ成程五六ツ出來マシタガ、今日動イテ居ルハ僅カ十五萬鐘、内地デ云ハ僅カニ工場ノ持ツテ居ル鐘數ニ過ギナイデアリマス、野田サンノ御心配ニナル程ノ狀

七〇

豫テ知ラズ、御承知置キテ願ヒタイ、デアリマス、今日朝鮮ニ内地ノ紡績ガ進出シテ工場ヲ造ルト申シテ居リマス、ケレドモ、詰リソレハ不足デアルカラ内地カラ朝鮮ニモ進出スルデアリマス、必ズシモ内地ガ餘ツテ居ルモノヲ以テ持ツテ行クデアリマス、一見御覽ニテルト、内地ノ紡績ハ操業短縮ヲ以ツテ居ルカラ、餘ツテ居ルト云フヤウニ御考ニナルデアリマセウガ、操短ト云フモノハ、今年申シマシタヤウニ年中、何十年來繰返シテ居ルデアリマシタ、決シテソレハ設備ガ餘ツテ居ルト云フ證據デハナイデアリマス、詰リ朝鮮ニ續々紡績工場ガ出來ルト云フコトハ、内地ノ設備ガ不十分デアツテ、註文ヲ受ケテモ之ヲ充スコトガ出來ナイ結果、朝鮮、支那ニ伸ビテ居ルモノナリト云フ感シテ下ニ、始終抗議ヲ申込ミ、陳情ヲ事トスル輩ガ多クデアリマス、是モ本當ニ設備ガ餘ツテ居ルナラバ、又生産ガ過剩ニナツテ居ルナラバ、是ハ尤ノコトデアリマシタ、國家ノ權力ヲ以テ防グト云フコトガ當然ナコトデアリマセウ、併シ物ガ餘ツテ居ルカドウカト云フコトハ、當業者ナドノ陳情ノミニ信頼シテ輕率ニ御考ニナルコトハ下ツテアルカ、モット具體的ニ切ニ御考ニナル必要ガアルノデハナイカ、物ニ依ツテハ非常ニ不足シテ居ル、殊ニ昨年ノ支那ノ豊稔ハ二十八億圓ニ達シテ居ルハ、ソレナラバ農産物ハ非常ニ値上リ、從ツテ購買力ガ二時ニ殖ニテ我國ナドニモ註文ガ殺到シタデアリマス、所謂物ノ飢饉ヲ現出シテ居ルハ、然ルニ重工業ハミナラズ輕工業ハ如何デアリマスガ、元來我國ノ産業ハ極メテ幼稚デアツテ、始終不足ヲ告ケテ居

七一

ル、其ノ原因ハ販路ノ擴大強化ガ不足ト居ル爲アリマス、昨今世界各商物者方缺乏ト居ルコトハ申
ス迄モナイ、従テ不安ヲ良イ日本ノ品物ガドク、海外ニ進出シ居ルモノ多ク、併シ我國ノ製品
ニ對シテ或ハ苦情ヲ言ヒ或ハ輸入ノ防遏ヲ努メテ居ル、防遏ニ努メテ居ルモノ多ク、努力ノ如何ニ依
ツテカマ販路ノ擴大モ出來レバ、適切ナル製品ヲ多ク送ツテ、オウキテ國富ト上ニ盡シ得ルト云フコト
ハ多言ヲ要シナイトゾアリマス、所謂是モ廣義國防ノ一端アリト考ヘテ宜シイモノアリマス、是レ等ノ點
ヲ付テハ種々意見モアリマス、又如何ニシテ輸出ヲ殖シ得ルカト云フコトハ付テモ意見ヲ持ツテ居
ルモノ多ク、先ヅ我國ニ最モ必要ナルハ船舶セヨハ人ノ問題ヲ申サレバ、製品ノ上ニ
亦申サレバ、ドクモ販路ノ擴大強化ガ必要ナル、又ソレガ我國ノ生命線ナルト云フモノト
考ヘテ去リバ、營業者ノ眼中唯利益ヲルニミト云フヤウナ狭イ意見ハ棄テ、之ニ相當ノ改善ヲ要スベ
キ時期ニ達シ居ルモノハオウキテ思フモノアリマス、殊ニ今日傳カニ十五萬鐘、内地ヲ申セバ一ツト工
場ニ通過シカヤウオウキテ經營ヲアル朝鮮ニ於テハ、更ニ之ヲ擴大強化スベキモノアリト考ヘテ居
ル、滿洲モ亦同様ノ立前ニアルト御承知置キテ願ヒタイ、私ノ殊ニ朝鮮或ハ滿洲ニ事業ヲ起ス必要アリト
認ムル所以ハ、朝鮮ハ日本ト合併シテ既ニ二十五年ヲ經過シ居ル、併シ大抵最近マデ同地ノ狀態ハ極
メテ生活ノ程度ハ極メテ劣アリマス、諸君御覽ニナレバ判ルモノアリマス、謂ハバ憫ムベキ狀態ニ置カ
レ居ルト申サレモ過言ナキト思フモノアリマス、從テ之ヲ改善シテ生活ノ向上ニ資スベキ事業ヲ起スベキハ當

七二

然ノコトゾアリマス、是ハ紡績ヲ起セト云フゾオナク、唯紡績ハ比較的多クノ人ニ着物ヲ與ヘ、職ヲ與
ヘルゾアリマス、サウ云フ事業ヲ起スコトハ當然ノコトゾアリマシテ、唯利得ニ流レムトスル徒ガ當局
ニ陳情シテ見タリ不平ヲ言フテ見タリスルモノハ大國民ノ襟度デハナイト考ヘルゾアリマス、成程朝鮮
ハ米ハ餘ツテ居ル、ソレヲ持ツテ來ルト過剩ダト言フテ苦情ヲ言ハレタノハ兩三年前ノ問題ゾアリマス
ガ、併ナガラ米ハ餘ツテ居ルガ故ニ持ツテ來ルノデハオナク、朝鮮ハ米ヲ賣ラナケレバ着物ヲ着ルコトガ出
來ス事情ニアルゾアリマス、所謂私共ヨリ申セバ、此ノ朝鮮半島ハ我紡績ノ唯一ノ使命トシテ、之ヲ稼
グ場所ト心得テ居ツタゾアリマス、内地ヨリモ非常ニ高イ衣服ヲ買ハナケレバナラヌ状態ニアル哀レナ
民族ニ對シテ、セメテ多少デモ餘裕ヲ與ヘレバ宜イト考ヘルゾアリマシテ、着物ヲ買フ以外ニ何ノ樂ミ
モナイ此ノ朝鮮半島人ノ生活ヲ見マシテモ、此處ニ紡績ヲ起シ、サウシテ直接安イ物ヲ供給スルト云フコト
ハ國家トシテ意義アル仕事デハナイカト考ヘルゾアリマス、現ニ一昨年末紡績ガ出來ルト云フ聲ダケ
デハ、朝鮮半島ニハ非常ニ安ク供給サレバヤウニナツテ居ルゾアリマス、私共ノ考カラ申セバ、此ノ仕事
ヲ持ツテ行ツタナラバ、此ノ地方ニ多クノ人ニ仕事ヲ與ヘ、サウシテ其ノ出來タ製品ハ海外ニ出ル、其ノ
賣ツタ金デ着物ヲ着ルト云フヤウナ經濟機構ノ轉換ヲ其ノ土地ニ求メルト云フコトハ極メテ肝要ナ政策デ
アルト考ヘルゾアリマス、私共非常ニ僅カデアリマスガ、朝鮮半島ニ紡績ノ進出ヲ企テタノハ、單ニ我
我ノ利益ト云フヤウナ問題デナイ、所謂半島人ヲ幸福ニスルコトガ内地人ノ義務デアルト考ヘテ、其ノ方

七三

而ニカラ致シタヤウナ次第デアリマスカラ、唯條ツダ物ヲ朝鮮ニ持ツテ來ルナト云フヤウナ無慈悲ナ御考
ヘ方ニ付テハ御訂正ヲ願ヒタイト考ヘルンデアリマス、滿洲ノ問題ニ致シマシテモ同様デアリマス、滿洲
ト日本トノ間ニハ色々ナ協定ガ行ハレテ居リマスガ、唯當業者ノ陳情ナドガ情實のニナツテ、國家ノ爲ス
ベキ途ヲ誤リ、内地本位ニ致スト云フヤウナ政策デハ、大陸進出策トシテモ亦國民生活カラ見テモ相當危
險ガアルト思フデアリマス、表面上現レタ數字必ズシモ眞理ヲ語ルモノデハナイ、ダカラ今後、企業廳
アタリデ色々ナコトヲ御始メニナル場合ニハ、當業者ノ意見ハ無論御聽取リ願ヒタイ、併シ更ニ大所高所
ヨリ將來ノ日本ト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイ爲ニ此ノコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、單ニ野口サニ異
議ヲ申上ゲタノデアリマセヌ、私ノ申上ゲタノハ一例ニ過ギテイノデアリマス、兎ニ角産業政策ト云フ
モノハ輕々ニ御取扱ニナラヌヤウニト云フ私ノ希望ヲ申上ゲタ次第デアリマス、

○二十二番(加藤議員) 先程カラ内地外地ト云フヤウナ中ニ、臺灣ト云フコトガ一ツモ御話ガ出テ居ラヌ
ヤウデアリマス、從ツテ臺灣ニ關係アル私トシテニ言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通り臺灣ノ
文化設備ハ益々完備シ順調ニ進ンデ參リマシテ、大正十三年以來即自給自足以上ニ、内地ニ向ツテ相當ノ
資源ヲ年々出シテ居ルヤウナ状態デアル、從ツテ内地ノ官民共ニ、モウ自給自足ガ出來ルンダカラ大シテ
心配スル必要ハナカラウト云フヤウナ「極ク「イロジ」」チ考デ臺灣ニ當ツテ居ラレタノデハナイカト思フ、
其ノ後朝鮮トカ或ハ滿洲ト云フヤウナ方面ニ色々ナ事件ガ起ツダ爲ニ、臺灣ト云フモノハ自然「ネグレク

トサレテ居ル、其ノ間ト云フモノハ過去十年乃至十二年ニモナルンデアリマス、從ツテ其ノ間ノ臺灣ニ
於ケル改良ニ付キマシテハ、所謂臺灣ニ關係アル者ダケガ相當力ヲ入レテ進ンデ居ルダケデアリマス、從ツ
テ内地方面カラノ所謂産業的或ハ經濟的ノ施設ト云フモノハ、多少滿洲、朝鮮方面ヨリ立遅レニナツテ居
ル、抑、御承知ノ通り臺灣ハ非常ニ資源ニ富ンダ所デアリマス、現在米ノ收穫モ一千萬石ニ達シ、内地ノ
移入シテ居ルモノガ四百五十萬石ニ上ツテ居ルハ、砂糖ノ如キハ内地ノ砂糖ハ臺灣ニ依存シテ居ルト云ツ
テモ宜イ位デアル、其ノ外熱ト光トニ恵レテ居ル臺灣ハ、有ユル産業ニ向ツテ相當ノ力ヲ持ツテ居ル、現
ニ津田議員ノ御心配ニナツテ居ル棉花ノ如キモノニ付キマシテモ、臺灣ニ於テハ只今一億萬斤ヲ標準トシ
テ生産ヲ増進シテ居ルンデアリマス、而モ其ノ成績ハ相當有望デアリマシテ、將來ニ於テ、日本ノ棉花ノ
輸入ノ極ク小部分デアリマセウケレドモ、相當貢獻スルモノガアルト思ヒマス、其ノ外熱帶關係カラシ
テ内地或ハ朝鮮滿洲方面ヘ出ラレナイヤウナ物資モ深山アリマス、是レ等ニ付キマシテハ何レ其ノ場合ニ
詳シク申述ベテ御參考ニ供シタイト思ヒマスガ、大體ニ於テ臺灣ハモウ既ニ全部開發サレテ居ルヤウナ御
考ガアルカ知レマセヌガ、御承知ノ通り臺灣ノ土地ノ四割五分ト云フモノハ未ダ開發セラレテ居ナイ、從
ツテ是レ等ニ向ツテ施設ト云フモノガ最モ緊急ヲ要スルト思フ、尙南支南洋ト云フ方面ヘノ臺灣ノ地位ハ
甚ダ重要ナ所デアリマシテ、是レ等ニ向ツテノ施設ハ最モ必要ダト考ヘテ居ル譯デアリマス、現ニ總督府
ニ於テハ南支南洋方面ニ向ツテ色々ナ施設ヲ加ヘタモノハ、過去十年バカリノ間ニ千五百萬圓バカリノ色

色施設ヲ加ヘテ、現ニツレニ向ツテ益カヲ入レテ進ミツ、アルヤウナ情勢デアリマス、臺灣ト云フモノハ、單ニ臺灣ダケノ開發資源ト云フモノニ付テモ決シテ等閑視得ベカラザルモノデアルト同時ニ、南支南洋方面ニ向ツテ我國ノ經濟發展等ニ關シテモ非常ニ重要ナ地點デアルト云フコトヲ特ニ御記憶ヲ願ヒタイノデアリマス、唯先程カラノ色々御説ノ中ニ臺灣ト云フ名稱ガ出ナカッタヤウデアリマスカラ、チヨツト御參考マデニ一言申上ゲテ置キマス

七六

○十五番(大藏議員) 大分時間モ経テマシタシ、又是レ程ノ大問題ヲ斯ウ云フ風ニ大勢ノ會議デアルノハドウカト思ヒマスカラ、私ハ一ツ動議ヲ提出致シマス、特別委員ヲ設ケラレマシテ、其ノ特別委員會ノ種類若クハ數又ハ人選ニ付キマシテハ之ヲ議長ニ一任スルト云フコトノ動議ヲ提出致シマス

○二十五番(藤原議員) 私ハ大藏男爵ノ動議ニ賛成スル者デアリマス、同時ニ私ハ議長ニチヨツト一言委員ノ選定ニ付テ御參考ニ申上ゲタイト思ヒマス、本日各議員ノ熱心ナ御話ヲ承リマシテ、生産擴充ト云フコトニ付キマシテモ非常ニ有益ナ御説ヲ澤山ニ承リマシタガハ考ヘテ見マスト云フト皆大産業カラ御覽ニナツタ所ノ生産擴充ノヤウデアリマス、併シ御承知ノ通り我日本ト歐米トハ産業ノ状態ガ非常ニ違ヒマシテ、大産業ト云フモノノ生産高ト中小産業ノ生産高ヲ比較スルトハ却ツテ中小産業ノ方が多イヤウナコトニナツテ居ル、又勞働者ノ數カラ見マシテモ、中小産業ノ方ガ勞働者ノ方が大産業ヨリ多イ、海外ヘシ輸出品ニシマシテモ今日ハ十億圓位デアリマスガ、中小産業ノ生産品デ國內ノ消費ハ三十億カラ四十億デア

リマセウ、サウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ經濟會議ノ議員ノ中ニ中小産業ヲ代表スル議員ガゴザイマセヌ、是ハ恐ラク商工省ノ御當局ガ代表シテオイデニナルト存ジマスガ、兎ニ角我國ノ産業カラ言フト、國防カラ申シテモ又ハ國民生活カラ申シマシテモ、國際貸借ノ上カラ申シマシテモ、此ノ中小産業ト云フモノヲ考ニ入レテ、サウシテ總テノ研究ヲシナイト云フト、飛ンデモナイ所ニ行ク處ガアルト存ジマス、ドウゾ此ノ邊モ能ク議長ニ於テ御考慮ノ上ニ、然ルベク御取計ヒテ願ヒタイ、大藏男爵ノ動議ニ賛成勞意見ヲ申上ゲテ置キマス

○八番(鮎川議員) 只今御話ノ所謂中小産業ノ問題ニナリマス、多數ノ人ニナリマセウケレドモ、今日ノ議題ノ中ニモ國民生活ノ安定ト云フヤウナ意味、國民生活ノ何デアツタカチヨツト忘レマシタガハソレハ言葉ハ何デアラウガ安定ト云フコトダラウト思ヒマスガ、ソレハ一向問題ニ花ガ咲キマセズデシタ、唯私ハ先程御話ヲナツタモノノ中デ、ソレニ該當スルモノガアルト云フコトヲ指摘致シタイノデアリマス、ソレハ野口サシノ御話ニ對スル津田サンノ反駁ノヤウナ御話ガアツタコトデアリマス、其ノ問題ハ從來斯ウ斯ウイフ風ニナツテ居ルカラ是ハ斯ウスレバ宜イデダト云フヤウナコトハ、チヨツト廣汎デズツテ御救ニタイノダラウト思ヒマス、ソレダカラ宜イコトヲ譯デアリマセマスガ、我々ヲ考ヘルソノ國民生活ノ安定ト云フコトハ、物價ガ急激ニ變動シタリタルモノガ色々點々脅威ヲ與ヘルヲ恐レマスカラ、ソレニハドウシテモ平生豫備ノ設備ヲ持ツテ居ルコトガ大事ホコラタタヒテアルト思ヒマス、例ハバ重要

七七

ガ急ニ殖エテ鐵見タイニオツタラ大變デ、直接民衆ノ消費物デナカツタカラ宜イヤウデアリマスガ、是ガ紡績トカ着物ト云フヤウナ物デアツタラ大變ナ問題ガ起ルト思フ、ソレハ平素ソコニ餘裕ヲ持ツテ居ルコトニ於テ安定ヲ得ラレル譯デアリマシテ、幾ラ物價對策ヲヤツテモ、ドンナ法律ヲ拵ヘテモ、需給關係ニハサウ云フ問題ガ潜ンデ居ルノデアリマスカラ、私ハ民衆ノ大キイ問題モ其ノ中ニ含まレテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○一番(兒玉議員) 私モ大藏男爵ノ御提案ニ賛成デアリマス

○廣田副會長 ソレデハ今大藏男爵ヨリ御提議ガアリマシタ點ハ、御異議ハナイト思ヒマスカラ其ノ通りニ決定致シマシテ、尙手續ハ議長ノ方デ取計ラフコトニ致シマス、本日ハ御多忙ノ際ニ御集リヲ願ヒマシテ、非常ニ有益ナル御意見ヲ拜聴致シマシテ誠ニ有難ウゴザイマシタ

午後六時十七分散會

中央經濟會議第一回總會附議事項

諮問第一號

我國現下ノ情勢ニ對應スル内外地間ヲ一貫セル綜合的經濟政策及之ニ基ク實施基本案ニ關シ意見ヲ諮
フ

說明

現下内外ノ情勢ニ鑑ミ國防並ニ國民生活ヲ基調トスル諸方策ヲ實施スル爲ニハ内外地ヲ一貫セル見
地ノ下ニ經濟力ノ充實發展ニ關スル政策ヲ樹立シ速ニ之ヲ實現ヲ圖ルノ要緊切ナルモノアリト認ム
依テ諸般ノ事情ヲ綜合攻究シ慎重審議ノ上成案ヲ得テ答申セラレンコトヲ望ム

中央經濟會議議事規則案

- 第一條 會議ノ日時及場所ハ議長之ヲ定ム
- 第二條 議長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス
- 第三條 議長、副議長共ニ事故アルトキハ議長ニ於テ指名シタル議員臨時議長ヲ代理ス
- 第四條 會議ハ議長、副議長及議員(臨時議員ヲ含ム以下同ジ)ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非ザレ

バ之ヲ開クコトヲ得ズ

- 第五條 議員ノ議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
- 第六條 會議ハ之ヲ秘密トス但シ差支ナシト認ムル事項ニ付テハ議長之ヲ公表セシムルコトアルベシ
- 第七條 發言セントスル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ
發言ハ議席ニ於テ起立シテ之ヲ爲スベシ
- 第八條 議事ノ整理上必要アルトキハ議長ハ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得
- 第九條 議長ハ審査上必要アリト認ムルトキハ關係各應職員其ノ他ノ者ヲシテ會議ニ出席シ議案ノ說
明ヲ爲サシメ又ハ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得
- 第十條 修正ノ動議ヲ提出セントスル者ハ案ヲ具シ之ヲ議長ニ差出スベシ但シ簡單ナルモノハ口頭ヲ
以テ陳述スルコトヲ得
- 第十一條 動議ハ賛成者タルニ非ザレバ議題ト爲スコトヲ得ズ
- 第十二條 議員建議案ヲ發議セントスルトキハ案ヲ具シ理由ヲ付シ賛成者ト共ニ連署シテ之ヲ議長ニ
差出スベシ
- 第十三條 議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第十四條 採決ハ起立ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投票ヲ用フルコトヲ得

第十五條 議長必要と認めルトキハ議員ノ中ヨリ特別委員ヲ選定シ審査ヲ命ズルコトヲ得
第十六條 特別委員ハ其ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク
特別委員長ハ審査ノ経過及結果ヲ會議ニ報告スベシ
特別委員會ニハ本會ニ關スル規定ヲ準用ス
第十七條 議事録ハ幹事之ヲ作成スベシ
第十八條 本則ニ規定ナキ事項ハ議長之ヲ決ス

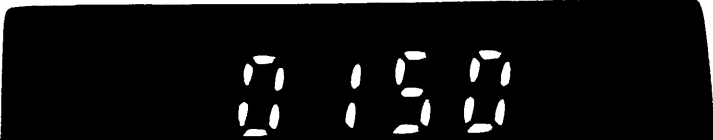
(日本憲法附則第16條)



分類 E/1107

中央經濟會議之書類

E-0123



中央經濟會議議事目録(一九三二年)

一、 會議開會

二、 議長挨拶

三、 議事録用ノ審議決定、其ノ他議事進行ニ關シ必要ナル事項ノ申合

★

四、 諮問(幹事諮問)

五、 諮問事項ノ説明(幹事長説明)

六、 各座提出ニ係ル資料ニ關スル説明(各座幹事、關係官)資料ニ關スル質疑應答

七、 諮問事項ニ對スル質疑應答

(以上大體第一日ノ日録)

内 閣

八、 諮問事項ニ對スル調査審議方針ニ關スル意見ノ交換

九、 諮問事項ニ對スル調査審議方針ノ決定

(産業部門別委員会又ハ小委員会等ノ設置等ヲ一應豫想ス)

一〇、 議會の産業調査會主要部ノ提議

(會議ノ議事進行ノ模範及會議ノ成行如何ニ依テ提示スルヤ否ヤヲ決定スルモノトス)

(重井納)

各位ニ於テハ御多忙中ニモ不拘今回中央經濟會議ノ議員タルコトヲ快諾セラレマシタコトハ私ノ欣懐トスル所デアリマス又本日第一回ノ開催ニ當リマシテハ殆全部ノ議員ガ出席セラレ、特ニ極メテ遠方カラ參ラレタ方ノ勤クナイコトハ之亦御苦勞ニ存スル次第デアリマス申ス迄モナク現下帝國内外ノ情勢ハ眞ニ非常ノ時デアリマス之ニ對處スル途トシテハ外ハ國防ヲ固クシテ國ノ益々泰キヲ圖ルト共ニ内ハ愈々産業ヲ振興シテ國力ノ充實發展ヲ遂グ以テ國防ト國民生活トノ需要ニ應ゼシメネバナリマセヌ之ガ爲ニハ凡ソ帝國ノ臣民タルモノハ官ニ就キタルト野ニ在ルトヲ問ハズ、悉ク協力一致帝國ノ永キ繁榮ノ爲ニ總ユル方法ヲ盡スコトガ必要デアリマス

今回各位ニ對シ特ニ本會議ノ議員タルコトヲ御願ヒ致シマシタノモ、全ク之等ノ點ニ鑑ミ、廣ク智識ト經驗トヲ動員シ帝國内外ニ互テ今後施設スベキ經濟諸政策ト其ノ實施案ノ樹立ニ資シ度イトノ趣旨ニ

外ナリマセヌ 依テ各位ハ時局ノ重大ナルト責任ノ輕カラザルトニ深ク思フ致シ産業經濟ノ運営ニ關スル深キ理解ト豐ナル經驗トヲ十分ニ活用セラレマシテ、帝國將來ノ發展ノ基礎タルベキ指針ノ確立ニ付キ格別ノ御奮勵アラムコトヲ望ンデ已ミマセヌ

中央經濟會議議事規則案

- 第一條 會議ノ日時及場所ハ議長之ヲ定ム
- 第二條 議長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス
- 第三條 議長、副議長共ニ事故アルトキハ議長ニ於テ指名シタル議員臨時議長ヲ代理ス
- 第四條 會議ハ議長、副議長及議員（臨時議員ヲ含ム以下同ジ）ヲ合セ其ノ半数以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ
- 第五條 議員ノ議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
- 第六條 會議ハ之ヲ祕密トス但シ差支ナシト認ムル事項ニ付テハ議長之ヲ公表セシムルコトアルベシ
- 第七條 發言セントスル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ
發言ハ議席ニ於テ起立シテ之ヲ爲スベシ
- 第八條 議事ノ整理上必要アルトキハ議長ハ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得
- 第九條 議長ハ審査上必要アリト認ムルトキハ關係各廳職員其ノ他ノ者ヲシテ會議ニ出席シ議案ノ説明ヲ爲サシメ又ハ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得
- 第十條 修正ノ動議ヲ提出セントスル者ハ案ヲ具シ之ヲ議長ニ差出スベシ但シ簡單ナルモノハ口頭ヲ以テ陳述スルコトヲ得
- 第十一條 動議ハ贊成者アルニ非ザレバ議題ト爲スコトヲ得ズ

第十二條 議員建議案ヲ發議セントスルトキハ案ヲ具シ理由ヲ付シ
贊成者ト共ニ連署シテ之ヲ議長ニ差出スベシ

第十三條 議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキ
ハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十四條 採決ハ起立ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投
票ヲ用フルコトヲ得

第十五條 議長必要ト認ムルトキハ議員ノ中ヨリ特別委員ヲ選定シ
審査ヲ命ズルコトヲ得

第十六條 特別委員ハ其ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク
特別委員長ハ審査ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スベシ

特別委員會ニハ本會ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條 議事録ハ幹事之ヲ作成スベシ

第十八條 本則ニ規定ナキ事項ハ議長之ヲ決ス



附 圖

我國現下ノ情勢ニ對應スル内外地國ヲ一貫セル綜合的經濟政策及之
ニ基テ實施スル本策ニ關シ意見ヲ附テ

說 明

現下内外ノ情勢ニ鑑ミ國防並ニ國民生活ヲ益固トスル諸方策ヲ實
施スル爲ニハ内外地ヲ一貫セル見地ノ下ニ經濟力ノ充實發展ニ關
スル政策ヲ樹立シ進ム之ヲ實現ヲ圖ルノ要緊切ナルモノアリト認
ム依テ附設ノ事情ヲ綜合攻究シ慎重審議ノ上成案ヲ得テ答申セム
コトヲ望ム

内 閣

日本標準規格B5判

(審井納)

E-0123





諮問事項ニ對スル説明(案) (一二七五)

現下内外ノ情勢ニ鑑ミルニ我國トシテハ國際正義ニ則リ東亞安定
勢力タルノ國カヲ培養スルノ要益々急ナルモノアリ依テ此ノ際急速
ニ國防ヲ充實スルト共ニ國民生活ノ基礎ノ確立ヲ圖ルハ將ニ喫緊ノ
要務ナリトス之カ爲ニハ産業經濟全般ニ互リ飛躍的發達ヲ遂ケシメ
産業各部門ニ互リ其ノ生産能力ヲ擴大スルト共ニ、又克ク其ノ對
外競争力ヲ強化シ、増大セル産業經濟ノ維持ニ支障ナキヲ期スルヲ
以テ要點トスヘシ

之カ具體的施設トシテハ單ニ生産諸部門ノ擴大強化ト其ノ相互間
ノ連絡調整ヲ圖ルコトノミニテハ極メテ不充分ニシテ、各種原材料
ノ圓滑ナル供給確保ヲ圖ルコトハ素ヨリ、資金ノ調達、技術及労働
ノ供給配分、生産品ノ消化等ニ關シテモ充分ナル考慮ト施設トヲ必
要トスヘシ、而シテ右ノ諸方策ノ攻究及實施ニ關シテハ、帝國經濟
全般ナル帝國經濟圈ヲ確立シ、之ヲ一貫シテ産業經濟全般ニ互リ高度

ノ整備充實ヲ圖ルヲ以テ目標ノ根幹ト爲スヘキハ實言ヲ要セサル所
トス、尙外地ニ於テハ産業經濟ノ發展ハ從來各地方ニ於ケル特殊ノ
事情ニ依リ支配セラレタル所尠カラズ之カ指導目標等ニ於テモ、内地
又ハ外地ノ連繫上遺憾ノ點尠シトセサルニ願ミ此際特ニ全體
的見地ニ立チ之カ統合調整ニ意ヲ用フルニ要アリ、帝國經濟圈ノ確立
ニ關シテハ日滿兩國ノ不可分關係ヲ基調ニシテ北支及南洋方面等ニ互
リ充分注意スルノ要アリトス

政府カ幾ニ我國經濟力ノ充實發展ニ關シ、生産力ノ擴充、國際收
支ノ適合及物資需給ノ調整ノ三點ヲ主眼トスル諸方策ヲ實施スルコ
トノ極メテ緊切ナルコトヲ闡明シタルハ、敘上ノ見地ニ鑑ミ我國産
業經濟ノ擱フヘキ方向ニ付大綱ヲ示シタルモノナルモ、之カ實施ニ
付テハ、更ニ日滿兩國ノ經濟的諸條件ヲ檢討シ、時勢ノ要求スル所
ヲ省察スルト共ニ帝國經濟ノ恒久的發展ノ基礎タラシムヘキ點ニ深
ク思ヲ致シ、速ニ經濟諸政策ノ根幹ヲ決定シ、更ニ之ニ基ク實施基

本案ヲ決定スルノ要アリト認ム 依テ本會議ニ於テハ右諸政策ノ樹
立ト之カ實施ニ關シ必要ナル事項ニ付慎重審議ノ上意見ヲ上申アラ
ムコトヲ望ム

E-0123



問、政府ハ我國ニ於テ計畫經濟ヲ樹立スルノ要アリト認メルヤ

答、野田計畫經濟ニ在リマシテハ、一定期間ニ付テ夫々國家全體ノ生産消費ノ目標ヲ決定シ、産業各部門ニ付テ其ノ目標ニ合致スル經濟管ノ計畫ヲ詳細ニ樹立シ、之ヲ一元的ナ統制ノ下ニ實施スルモノデアリマシテ、原則トシテ産業ノ經營ノ基礎ヲ個人ノ創意ノ發揮ト充分ナル活動トニ置ク我國經濟ノ進歩ニ於テハ、新ル方法ヲ其ノ儘ニ採用スルコトハ出来マセム 然レ乍ラ該ニモ說明致シマシト知ク、(幹事長說明案参照)、我國現時ノ必要ヲ充足スルニ足ル丈ノ經濟全體ノ充實ヲ急遽ニ達成スル爲メハ、彼ニ自給ノ發展ノヒキヲ、將來ニ付テ全然無計畫無目標ニ放任スルヲ以テシテハ、之亦不充分デアリコトハ關フ迄モナイコトデアリマシテ、特ニ必要ヲ認メル生産部門ニ於テハ、一定年度内ニ調整セシムベキ生産力ノ目標ヲ決定シ、之ニ調整セシムルニ必要ナ各般ノ施設

内 閣

ヲ整ヘルノ必要ガアルト考ヘマス
(其ノ施設ノ程度、方法等ハ各産業ニ付テ異ルノデアリマスガ、各種ノ保護助成施設、生産品ノ輸出其他ニ關スル考慮、營業者ノ自治的統制ノ強化、又必要ニ依テテ國家自給ガ行フ統制ノ實施等ハ其ノ手段・方法デアリマス。)

問、政府ハ我國ニ於テ産業五年計畫ヲ樹立、實施スルノ意志アリヤ
又現ニ之ニツキ計畫シツツアリヤ

答、我國産業經濟ノ實情ハ國防上及國民生活上ノ重要物資ニ付テ、一定年度内ニ調整セシムベキ生産、供給ノ目標ヲ定メ、其ノ實現ニ必要ナ各種ノ方策ヲ實施スルノ必要ガアルト考ヘテ居リマス 從ツテ若干ノ基本的産業ニ於テハ年次別ニ一應ノ目標ヲ研究致シテ居ルノデアリマシテ、本會議ノ特種ノ結果等ヲ參照シテ之ヲ決定シ、實行ニ移シタイト考ヘマス 但シ我國民經濟全體ヲ通ジ一率

(重井 啓)

ニ五年ヲ限リテ計畫ヲ樹立スルトイフ様ナ考慮ヲ決定スルマデニ
ハ未ダ至ラザルリマセヌ

問、滿洲五年計畫ト綜合經濟政策トノ關係ハ如何ニ考フヘキヤ

答、滿洲滿洲國ニ於キマシテハ其ノ國防上及經濟上ノ必要ニ基キ産業
五年計畫ヲ樹立シ、之カ目標ノ達成ニ努力セザラズアルコトハ御承
知ノ通デアリマス 從ツテ綜合的經濟政策ノ樹立ニ付テハ當然有
計畫ト密接ナル關係ヲ保テツテ我國内外ニ於テ所謂日本國民經濟
圈ヲ通シテ實施スヘキ全般の經濟政策ヲ導クニ付テアルト考ヘ
マス 其ノ結果或ハ既存ノ滿洲國五年計畫ニ付テ、全般ノ綜合的
整上ヨリスル措置ノ必要ナモノガ出来マシタラバ、然ルベク進
言ヲ繼續ヲ取リタイト考ヘマス

(今少シ具體的ニ說明致シマス、綜合計畫ニ付テハ日滿ヲ通ジ
一體トスル地域ヲ目標トシテ政策ヲキナシタラズト考ヘマスガ、

内 閣

具體策ノ決定ニ當ツテハ既存ノ滿洲國産業經濟五年計畫ハ充分奉
重シ、之ト歩調ヲ共ニスル計畫ヲ内外地全般ニ重ツテ樹ツルコト
ニ努メルト共ニ、其ノ必要カラ既存ノ滿洲五年計畫中ニ今後更ニ
追加ヲ要スルモノ其ノ他變更ヲ必要トスルモノヲ生ジマシタ場合
ニハ、可能滿洲國ニ協力ヲ求メルコトト致シ度イトイフ考デアリ
マス)

問、國防上ノ要求ニ基キ軍用自ノ産業計畫ナルモノアリヤ 若シアラ
バ其ノ概要如何

答、國防ヲ安固ナラシムル必要ニ基キ 各種資材ノ供給量及國內ニ於
ケル其ノ生産力ノ維持増進等ニ關スル要求ガアリマスコトハ固ヨ
リ當然デアリマス 然レ乍ラ産業經濟ニ關スル計畫ハ總テノ國家
活動ノ見地シテ經濟條件ノ可能性ノ下ニ制メテ樹立サレルモノデ
アリマシテ、前ニ述ベマシタ國防上ノ要求ノ充足ヲ目標ニ置キテ

(富井清)

ツ、之等ノ總テノ見地ヲ綜合シテ計畫ヲ決定スベキデアルト考ヘ
マス
從ツテ軍獨自ノ並發的産業計畫トシテ確定シタモノハアリマセヌ
志ヲ兵器工業ニ付テハ軍トシテ一定ノ計畫ガアルトノコトデアリ
マスガ其ノ擴充ニ要スル資金其他ノ事項ハ預メ立案中ナル並發的
産業計畫ニ包含セラルヘキモノト考ヘテ居リマス

内
閣

(實非納)



綜合的産業計畫樹立要綱

一一、六、二三

一、我國内外ノ情勢ニ鑑ミ

- (一) 軍需資材ノ必要量ノ供給確保
- (二) 國民生活必需品ノ供給ノ確保
- (三) 國際收支ノ根本的改善

ノ三點ヲ目標トシテ日滿ヲ通ジテ綜合的計畫ヲ樹ツルコト

ニ、右ノ目標ヲ達成スル爲生産力擴充ヲ主眼トシ産業ノ種類ニ從ヒ地域的條件ヲ考慮シ緩急ヲ分チテ一應五ヶ年間ノ計畫ヲ樹立スルコト

即チ

(一) 基礎工業ノ確立ヲ圖リ併セテ國防ニ支障ナカラシムル爲左ノ方策ヲ講ズルコト

(イ) 重工業ヲ中心トスル工業ノ確立ヲ圖ル爲内外地滿洲等ニ於ケル資源ノ開發ヲ圖ルコト

(ロ) 國防上特ニ必要ナル資材ニ付之ガ自給ヲ圖ルコト

(ハ) 國防上必要ナル原材料ニシテ之ヲ海外ノ供給ニ俟ツノ外ナキモノニ付テハ資本投下、貯蔵、代用品産業ノ培養等ニ依リ其ノ圓滑ナル供給ヲ確保スルコト

(ニ) 内外地滿洲等ニ亘リ夫々農畜産水産林産等ノ充實調整ヲ圖リ國民生活必需品ノ供給ヲ確保スル方策ヲ講ズルコト

(三) 國際收支ノ根本的改善ヲ圖ル爲左ノ諸方策ヲ講ズルコト
 (イ) 輕工業ヲ中心トスル既存輸出産業ノ強化ヲ圖ルノミナラズ新興化學工業品、重工業品、農産品等ニ付テモ努メテ海外進出ヲ企圖スルコト

(ロ) 海外ニ依存スル輸出品工業ノ原料ニ付テハ其ノ潤澤ナル供給ヲ確保スルコト

(ハ) 代用品ヲ以テ代へ得ル輸入工業原料ニ付テハ努メテ其ノ使用ヲ獎勵スルコト 但シ之ガ爲當該産業ノ輸出力ヲ阻害

セザル注意ヲ要ス

(二) 内外地滿洲ヲ通ジ金ノ増産ヲ圖ルコト

(四) 右ノ達成ノ爲電力、動力及交通運輸施設ノ整備擴充ヲ圖ルコト

三 右計畫ノ遂行ニ必要ナル資金ノ圓滑ナル調達方法ヲ講ズルト

共ニ技術及勞働力ノ培養及動員ノ方法ヲ講ズルコト

四 本綜合計畫ノ實施ヲ保障スル爲行政組織及經濟機構ノ各般ニ亘リ其ノ改善ニ付考慮スルコト

五 過渡期ニ於ケル國際收支ノ均衡ノ保持及物價ノ調節ニ付適正ナル方策ヲ講ズルコト

中央經濟會議官制

(昭和十二年七月一日
勅令第二百九十五號)

中央經濟會議官制

第一條 中央經濟會議ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ左ノ事項ヲ調査審議ス

一 内外地間ノ綜合的經濟政策

二 前號ノ政策ニ基ク實施基本案

中央經濟會議ハ前項各號ノ事項ニ關シ内閣總理大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 中央經濟會議ハ議長一人、副議長一人及議員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

前項ノ議員ノ外必要アルトキハ臨時議員ヲ置クコトヲ得

第三條 議長ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

副議長ハ企畫廳總裁ヲ以テ之ニ充ツ

議員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

臨時議員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

ズ

第四條 議長ハ會務ヲ總理ス

一

二

副議長ハ議長ヲ輔佐シ議長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第五條 中央經濟會議ニ幹事長及幹事ヲ置ク

幹事長ハ企畫廳次長ヲ以テ之ニ充ツ議長及副議長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

幹事ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ上

司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

企畫廳常任參與ハ幹事タルノ地位ヲ有ス

第六條 中央經濟會議ニ書記ヲ置ク

書記ハ内閣ニ於テ之ヲ命ズ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(日本標準規格印刷)